

第6次田川市総合計画  
市民意識（アンケート）調査  
報告書

令和元（2019）年7月

福岡県田川市



# 目 次

1	調査概要	1
2	アンケート結果	2
	（1）回答者の属性	2
	（2）田川市の住みやすさについて	11
	（3）田川市での暮らしについての満足度と重要度	21
	（4）市政への関心度	37
	（5）田川市の将来について	40



# 1

## 調査概要

### (1) 調査目的

人口減少・少子高齢化の進展など社会の情勢が変化し、それに伴って市として取り組まなければならない課題は多様化する中、市民参加のまちづくりを念頭に置き、市民が考えるまちづくりの現状や課題などを抽出し、「第6次田川市総合計画」に反映させるために市民意識（アンケート）調査を実施した。

### (2) 調査対象・方法

市民アンケート	18歳以上の市民の中から、1,500人を無作為に抽出し、アンケート調査票の郵送配布・郵送回収により実施
---------	---

### (3) 調査期間

調査期間	平成30（2018）年10月13日（土） ～平成30（2018）年11月5日（月）
------	--

### (4) サンプル数

配布数	1,500
回答数	567
回収率	37.8%（平成29（2017）年実施時の回収率：35.8%）

### (5) 集計分析上の留意点

- ・ 報告書内の図表等においては、調査の全体サンプル数を「N」、限定質問および属性別のサンプル数を「n」で表記した。
- ・ 図表中の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。また、複数回答(2つ以上の選択肢を回答)では合計が100%を超える場合がある。

#### 【平均スコアの算定】

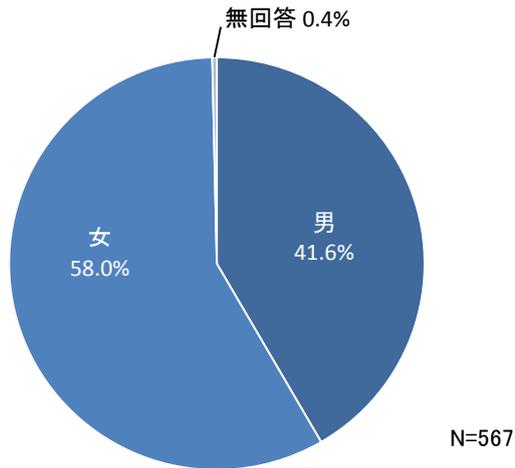
設問によっては、回答結果を平均スコアを算定し、回答傾向を把握した。平均スコアの算定方法は、選択肢にスコアを配点し平均化した。(良い順に「2点」「1点」「▲1点」「▲2点」を配点)

平均スコア＝ $\Sigma$ （配点×選択者数）／有効回答数

## (1) 回答者の属性

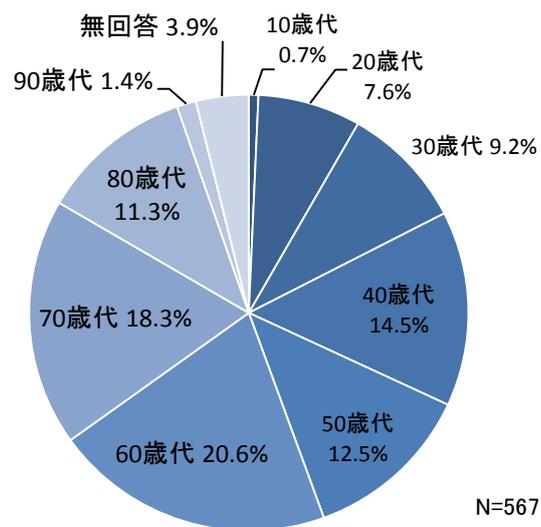
## 【性別】

女性が約6割、男性が約4割と女性の回答者の方が多い。



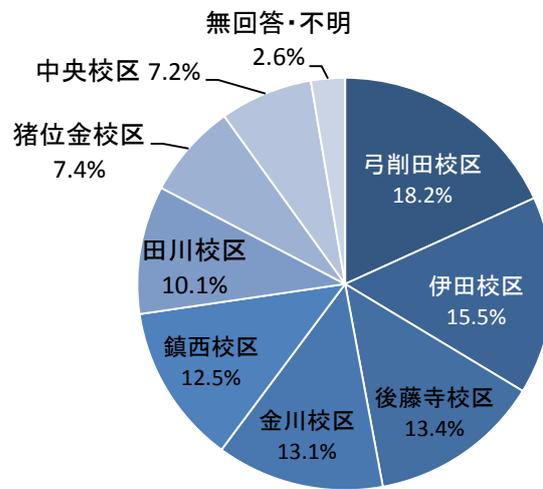
## 【年齢】

「60歳代」の回答者が20.6%と最も多く、次いで「70歳代」の18.3%となっており、60歳以上の回答者が約5割を占めている。



### 【住まいの中学校区】

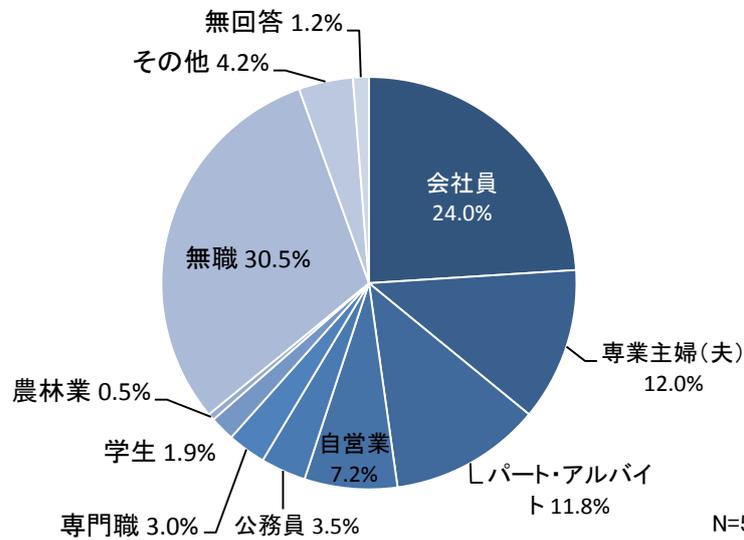
「弓削田校区」に在住の回答者が 18.2%と最も多く、次いで「伊田校区」が 15.5%となっている。



N=567

### 【職業】

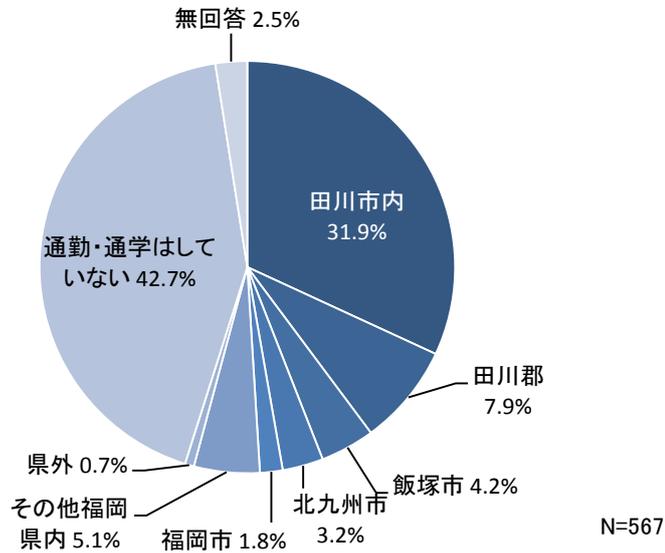
「無職」と回答した人が 30.5%と最も多く、次いで「会社員」が 24.0%となっている。



N=567

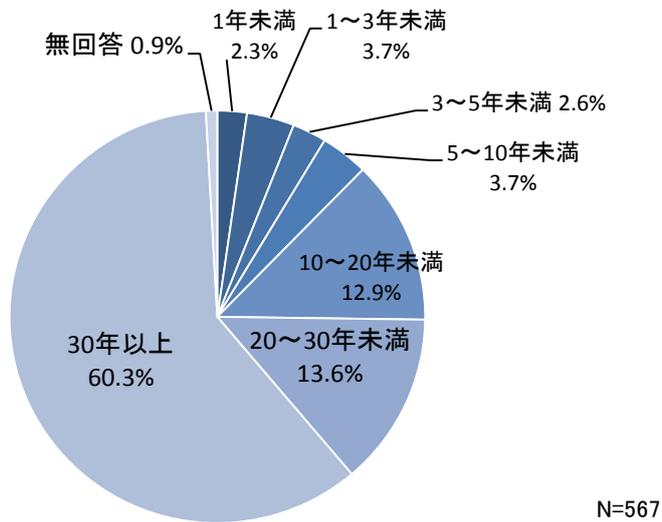
### 【通勤・通学先】

「通勤・通学はしていない」と回答した人が42.7%と最も多く、次いで「田川市内」が31.9%となっている。



### 【田川市での居住年数】

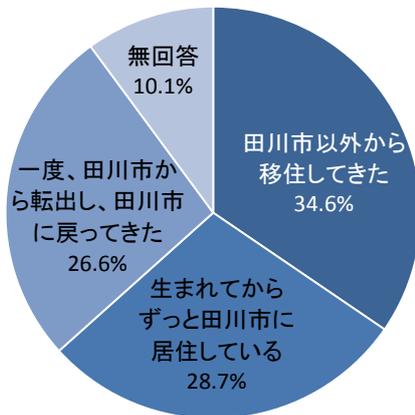
田川市での居住年数は、「30年以上」と回答した人が60.3%と最も多く、次いで「20～30年未満」が13.6%となっている。20年以上住んでいる人が7割以上占めている。



## 【移住の有無】

### ■移住の有無

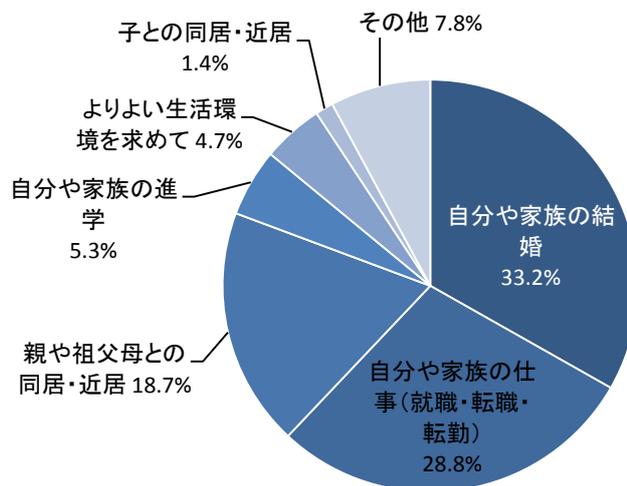
「田川市以外から移住してきた（Iターン）」と回答した人が34.6%と最も多く、次いで「生まれてからずっと田川市に居住している」が28.7%となっている。



N=567

### ■移住の理由

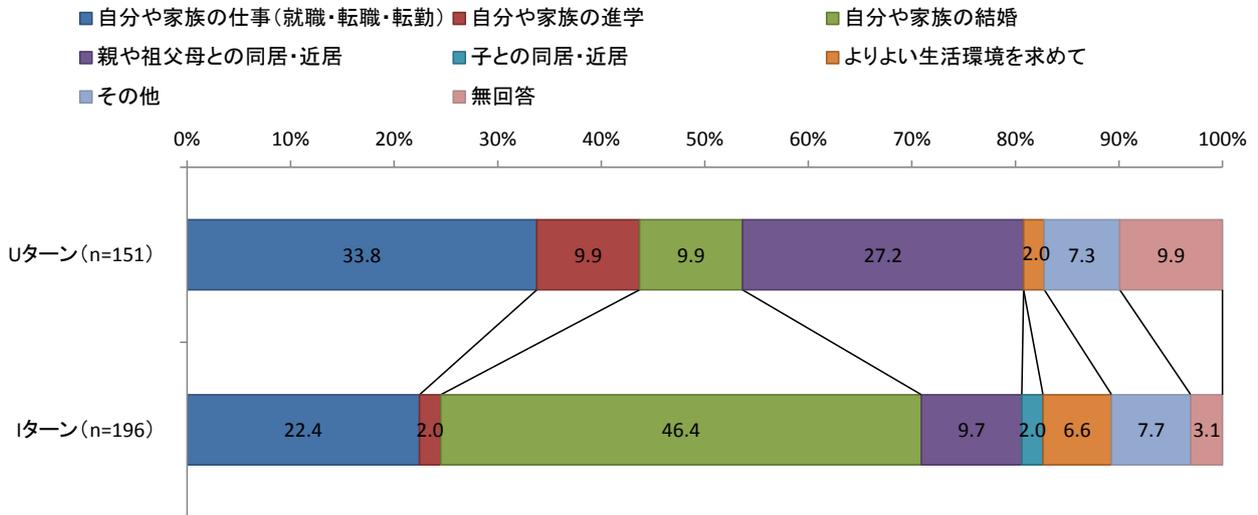
Iターン、Uターン全体で見ると、田川市への移住、戻って来た理由としては「自分や家族の結婚」が33.2%と最も多く、次いで「自分や家族の仕事（就職・転職・転勤）」が28.8%となっている。



n=358  
無回答除く

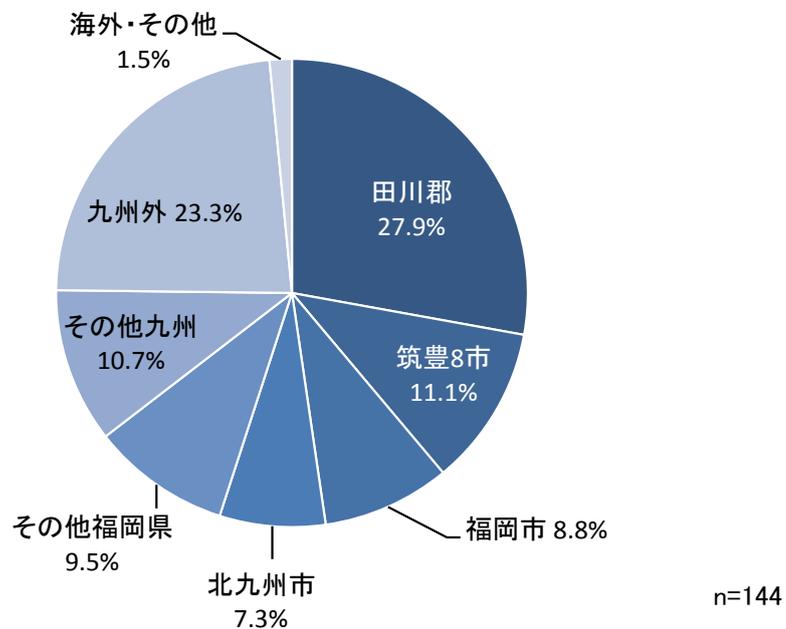
**【参考】Iターン・Uターン者の移住・戻ってきた理由**

Uターン、Iターン別に移住・戻ってきた理由をみると、Iターンは圧倒的に「自分や家族の結婚」(46.4%)が多い。一方、Uターンは、「自分や家族の仕事」が33.8%と最も多くなっている。



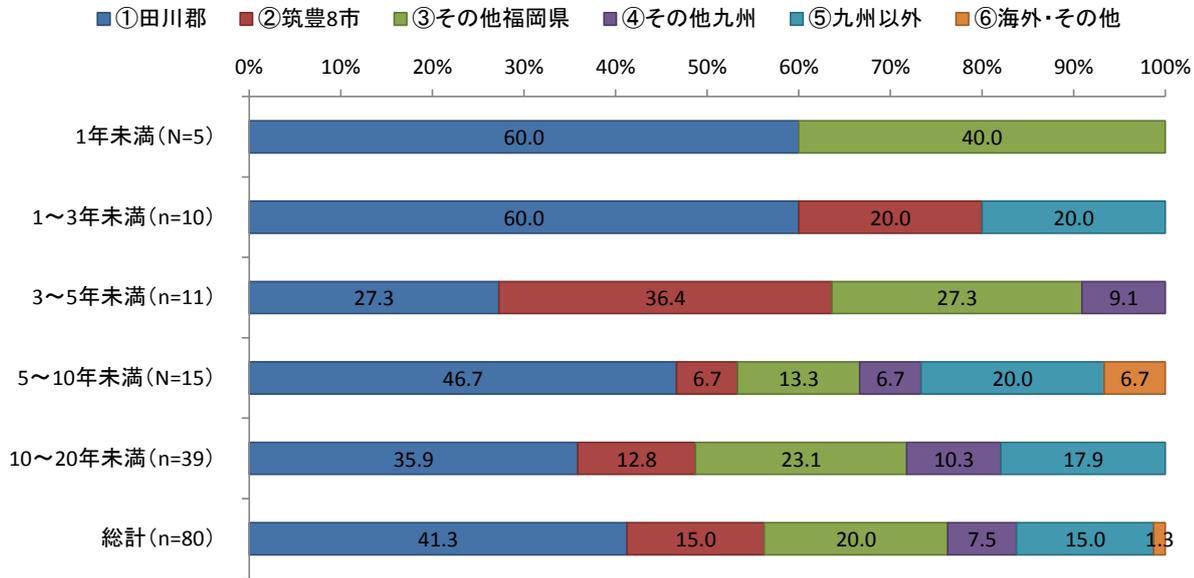
**■移住前の居住地**

移住前の居住地は「田川郡」が27.9%と最も多く、ついで「九州外」が23.3%となっている。



**【参考】居住年数 20 年未満の I ターン・U ターン者の以前の居住地**

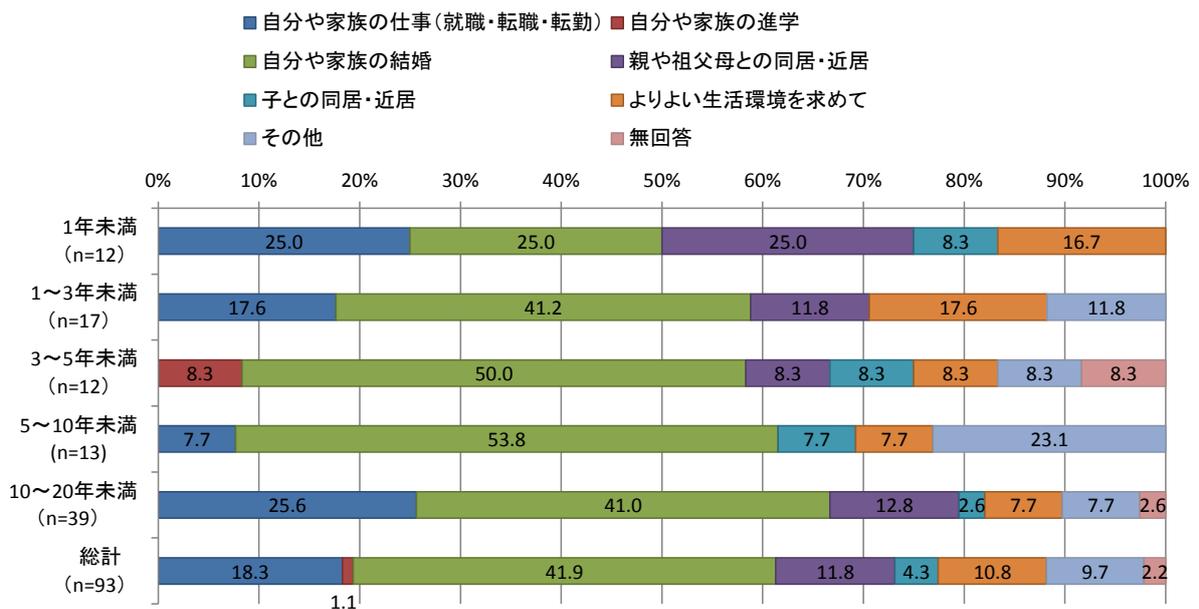
居住年数が 20 年未満の回答者の以前の居住地を見ると、全体では「田川郡」が 41.3%と最も多く、次いで「その他福岡県」が 20.0%となっている。



**【参考】居住年数 20 年未満の移住者の動向**

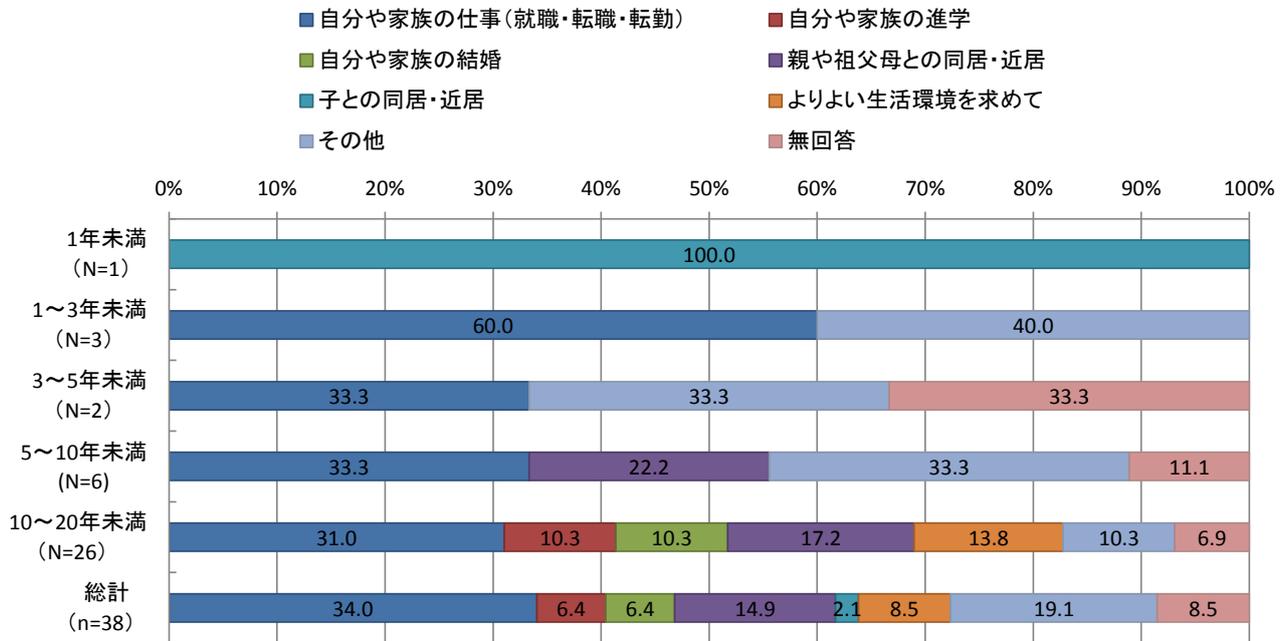
**【I ターン (参考)】**

移住の状況をさらに詳しくみるため、田川市での居住年数別に I ターンの理由をクロス集計したところ、居住年数が長くなるほど、「結婚」や「仕事」が理由での I ターンが多い。一方、居住年数が短い「1 年未満」「1~3 年未満」については、「よりよい生活を求めて」の割合が高くなっている。



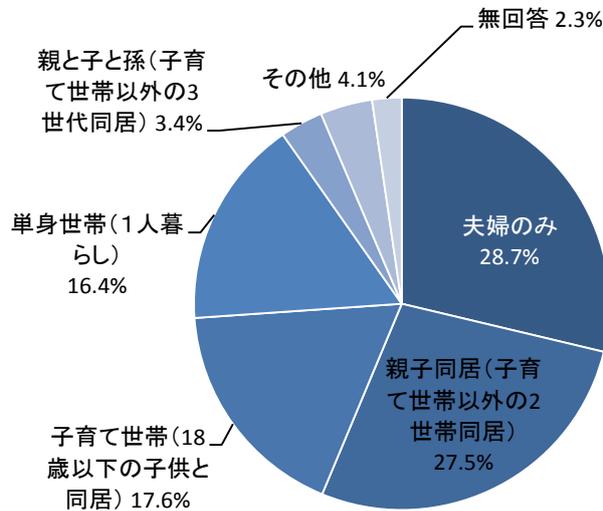
### 【Uターン（参考）】

Uターンについて該当者が最も多い居住年数10～20年未満をみると、移住の理由は「自分や家族の仕事」が31.0%と最も多く、次いで「親や祖父母との同居・近居」が17.2%となっている。Iターンと異なり「自分や家族の結婚」が少ない。



### 【同居の状況】

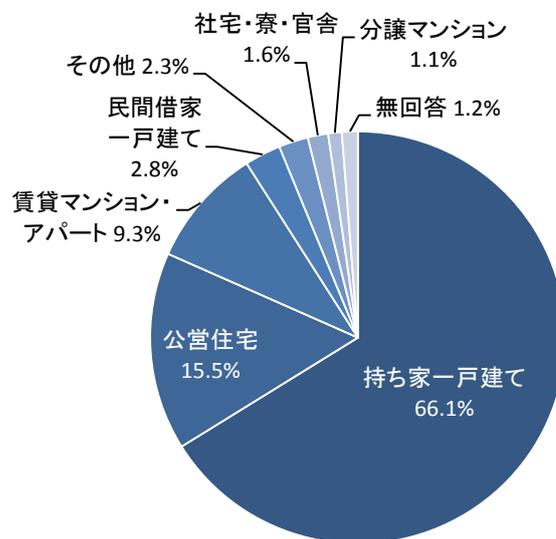
同居の状況では、「夫婦のみ」と回答した人が28.7%と最も多く、次いで「親子同居（子育て世代以外の2世帯同居）」が27.5%となった。



N=567

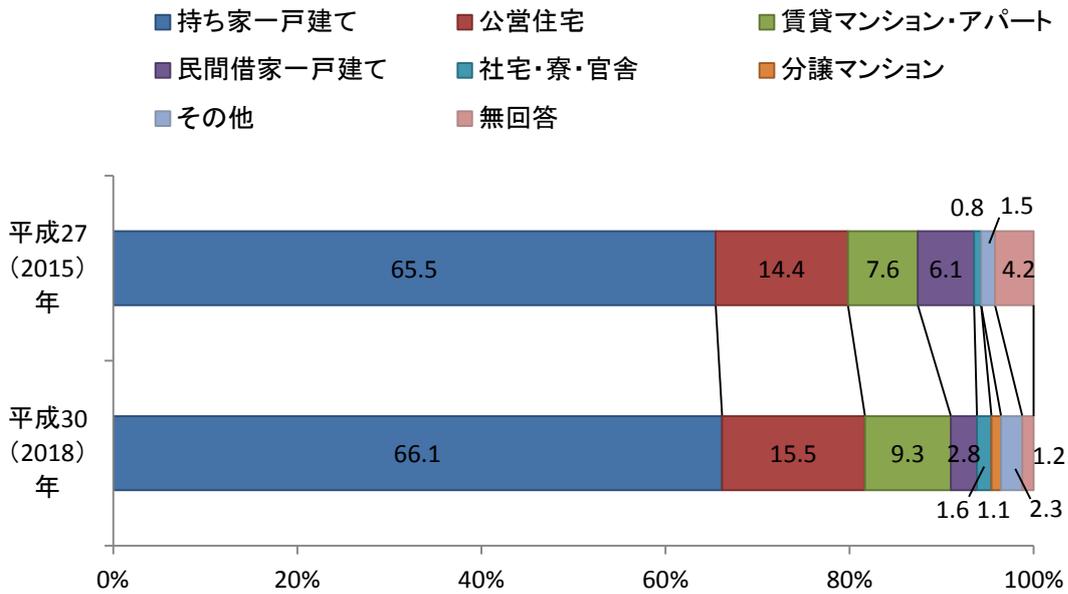
### 【居住の形態】

居住の形態では、「持ち家一戸建て」が66.1%と最も多く、次いで「公営住宅」が15.5%となっている。

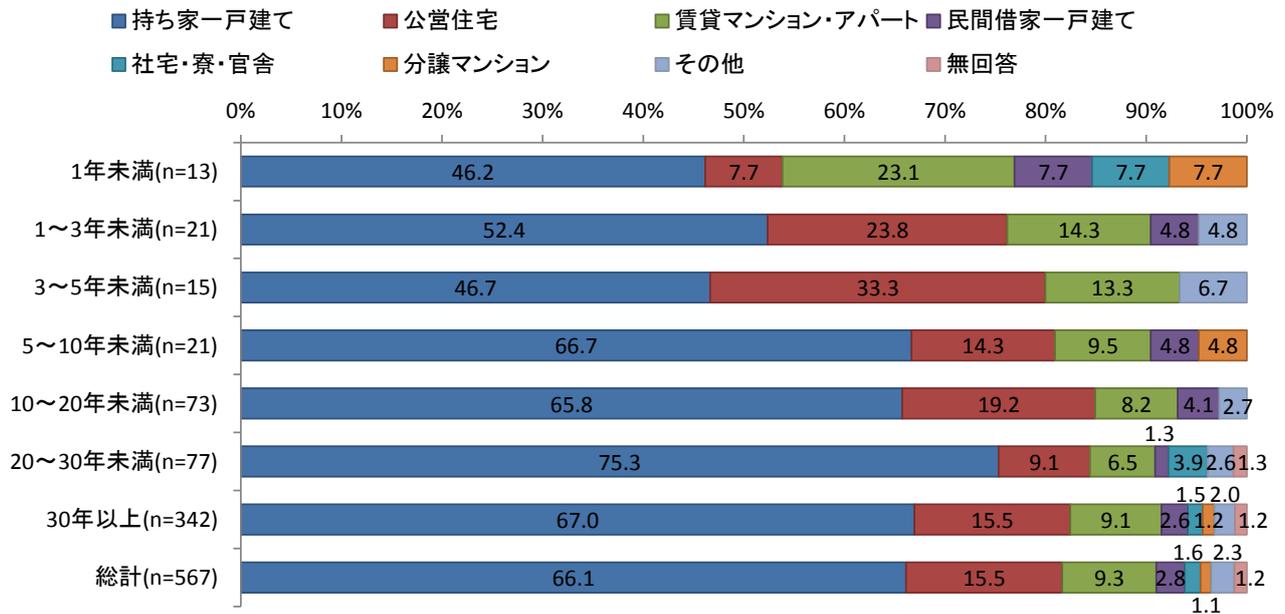


N=567

【参考】平成27（2015）年市民意識調査との比較



【参考】居住年数別持ち家一戸建ての割合

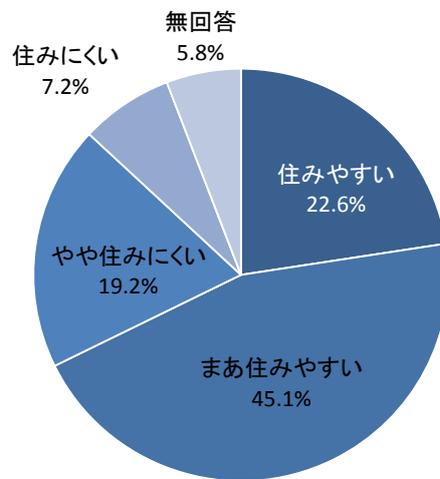


## (2) 田川市の住みやすさについて

### 【田川市の住みやすさ】

田川市の住みやすさについては、「まあ住みやすい」と回答した人が45.1%と最も多く、次いで「住みやすい」が22.6%となっている。「住みやすい」「まあ住みやすい」と回答した人は、67.7%と約7割となった。

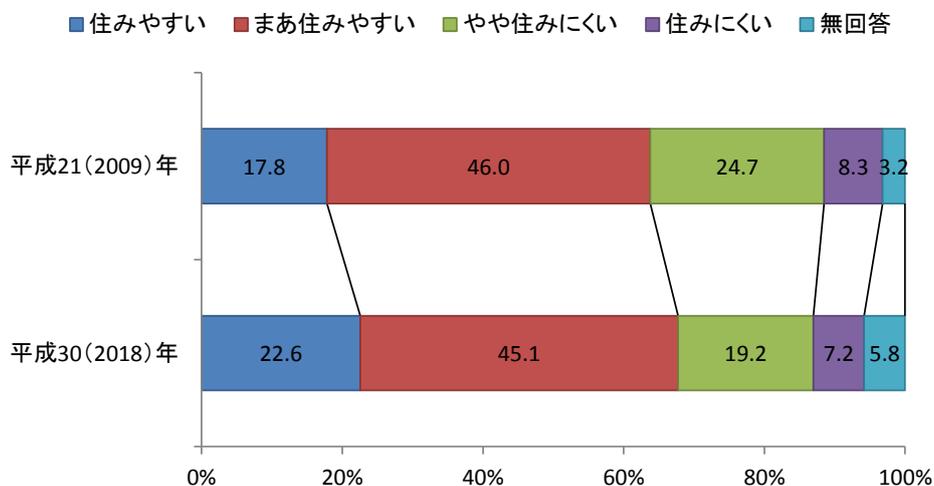
**問2** あなたは、田川市は住みやすいところだと感じますか。あなたの考え方に近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。また、その理由もお答えください。



N=567

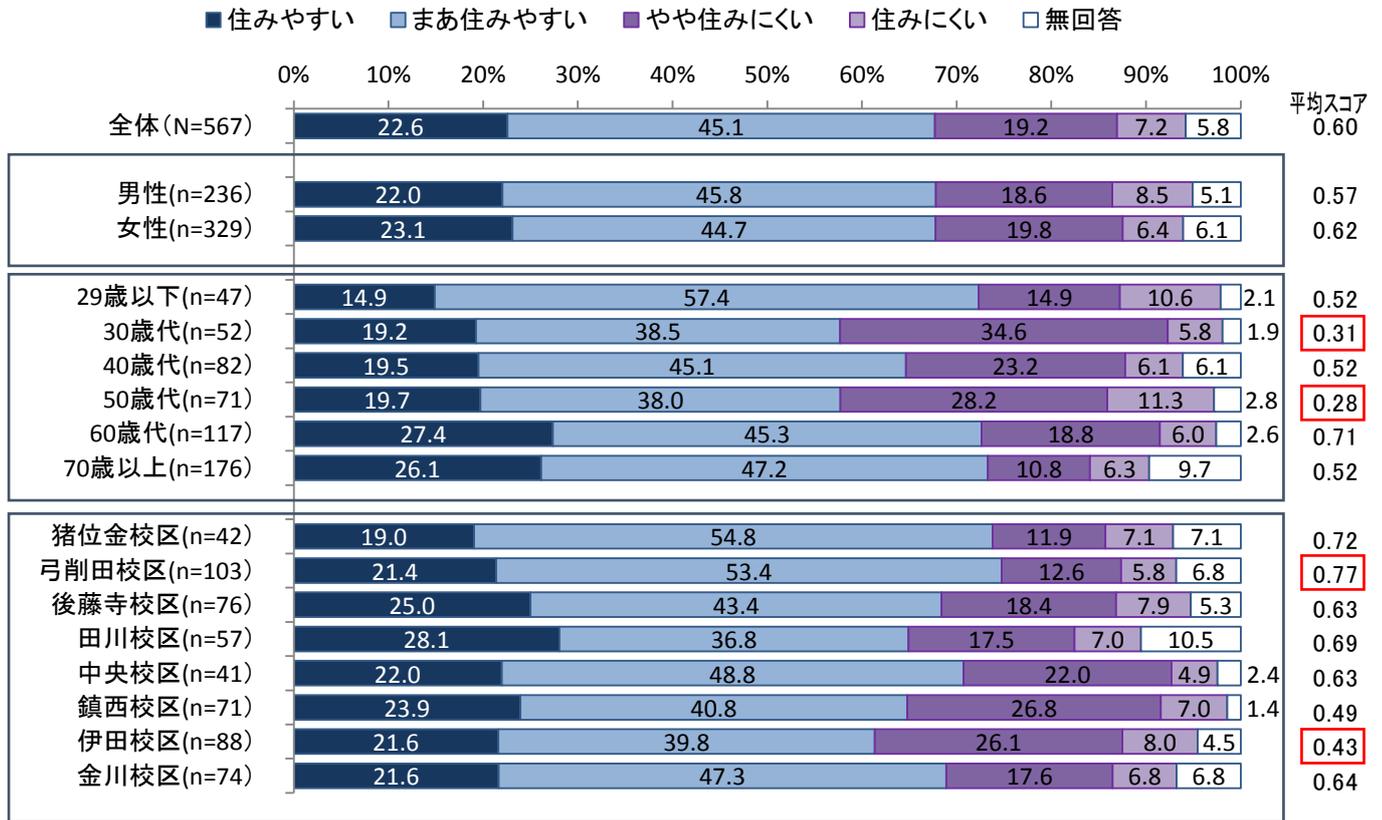
### 【参考】平成21(2009)年市民意識調査との比較

平成21(2009)年調査と比較すると「住みやすい」は4.8%ポイントの増加、「まあ住みやすい」は0.9%ポイントの減少となった。「住みやすい」「まあ住みやすい」では3.9%ポイントの上昇となった。一方、「住みにくい」との回答は1.1%ポイント減少した。



**【参考】田川市の住みやすさ 属性別傾向（平均スコア）**

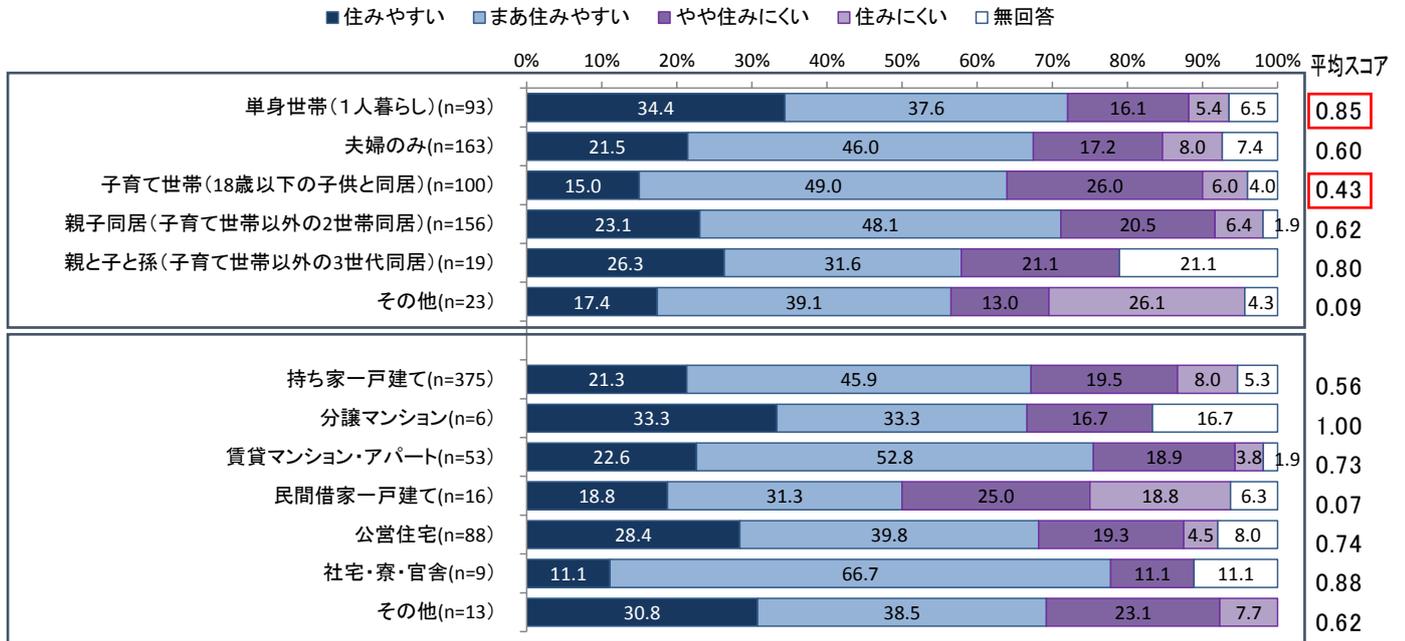
- ・ 男女別の傾向差はほとんどみられなかった。
- ・ 年代別にみると、30歳代、50歳代の「住みやすい」「まあ住みやすい」の割合が、他の年代よりも小さく、50歳代については、平均スコアが最も小さい。
- ・ 地区別についてみると、弓削田地区の平均スコアが最も高い一方、伊田地区の平均スコアが最も低くなっている。



注) 平均スコアの算定方法は1ページを参照

【参考】田川市の住みやすさと同居・居住形態別の傾向（平均スコア）

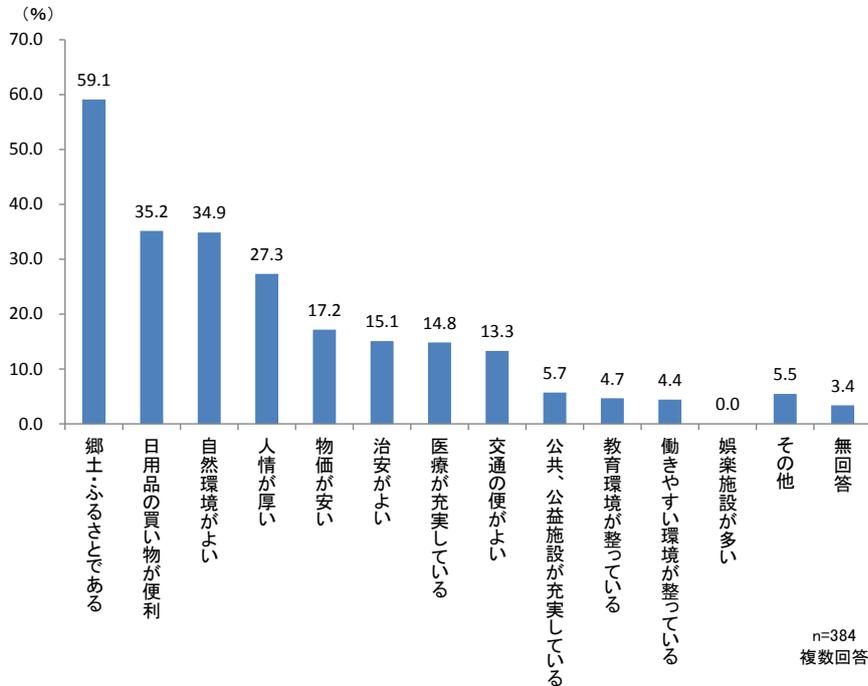
- 世帯形態別にみると、単身世帯（1人暮らし）のスコアが0.85と最も高い一方、子育て世帯（18歳以下の子供と同居）が0.43と最も低くなっている。



- 注) 平均スコアの算定方法は1ページを参照

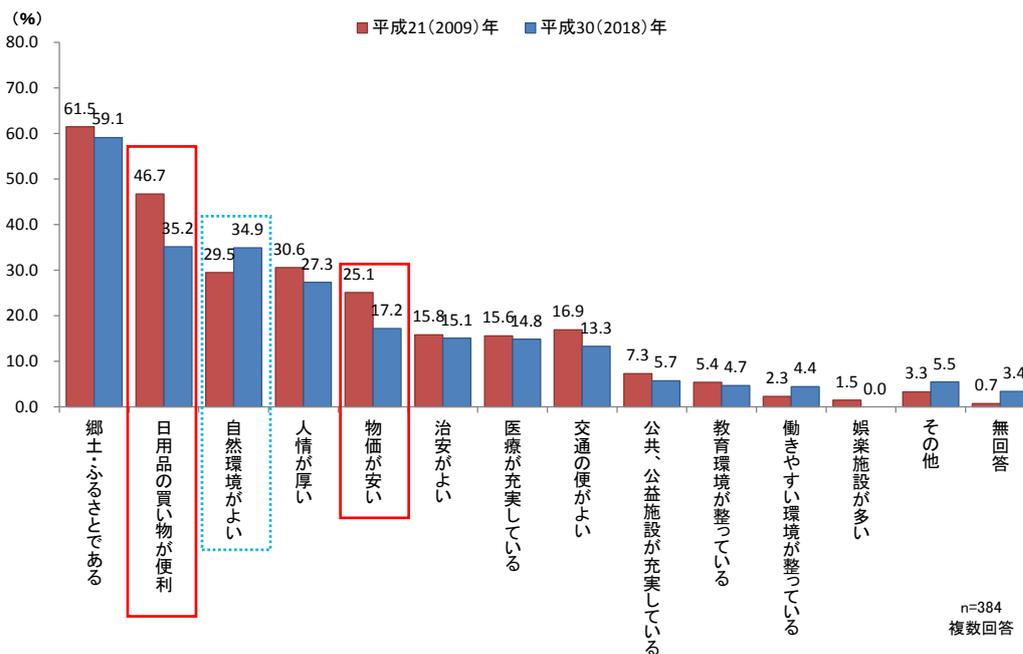
## ■住みやすい理由（「住みやすい」「まあ住みやすい」と回答した人）

田川市の住みやすい（住みやすい・まあ住みやすい）理由をみると「郷土・ふるさとである」と回答した人が 59.1%と最も多く、次いで「日用品の買い物が便利」が 35.2%、「自然環境がよい」が 34.9%となっている。



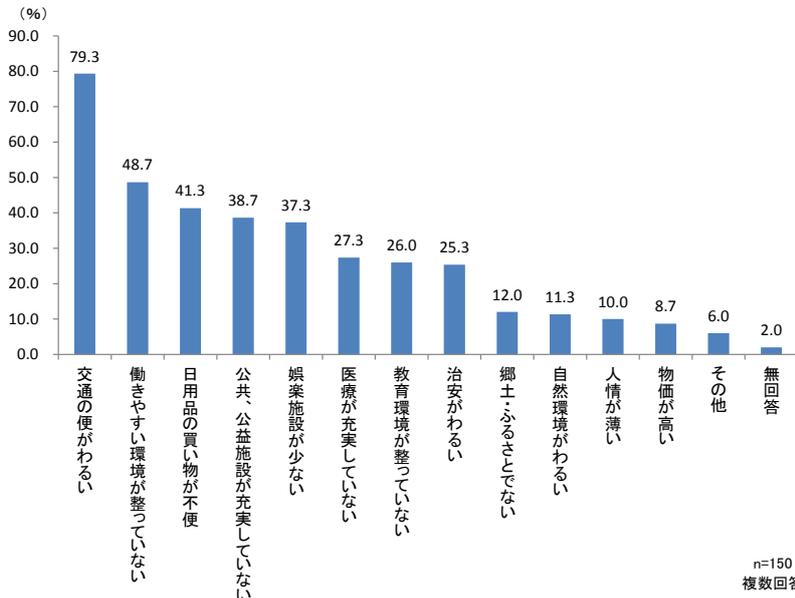
## 【参考】平成 21 年（2009）年市民意識調査との比較

平成 21（2009）年調査と比較すると「自然環境がよい」が 5.4%ポイント、「働きやすい環境が整っている」が 2.1%ポイント上昇したほかは、軒並み減少している。特に「日用品の買い物が便利」が▲11.5%ポイントと減少幅が大きい。



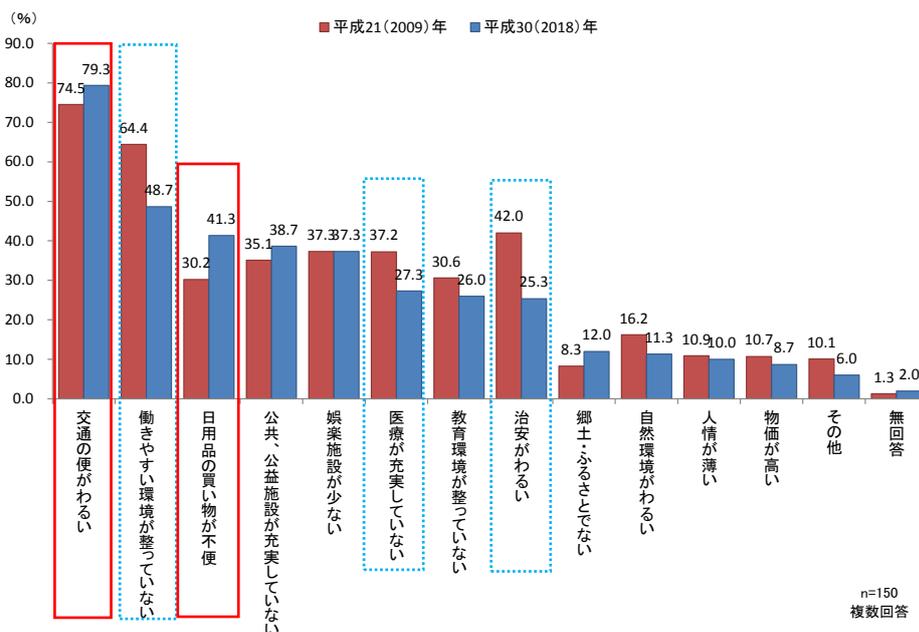
## ■住みにくい理由（「やや住みにくい」「住みにくい」と回答した人）

田川市の住みにくい理由をみると「交通の便が悪い」と回答した人が 79.3%と圧倒的に多く、次いで「働きやすい環境が整っていない」が 48.7%、「日用品の買い物が不便」が 41.3%となっている。



## 【参考】平成 21 年（2009）年市民意識調査との比較

平成 21（2009）年調査と比較すると「交通の便が悪い」が 4.8%ポイント、「日用品の買い物が不便」が 11.1%ポイント、「郷土・ふるさとでない」が 3.7%ポイント上昇したほかは、軒並み減少している。特に「働きやすい環境が整っていない」が 15.7%ポイント、「治安が悪い」が▲16.7%ポイント減少幅が大きい。なお、「日用品の買い物が不便」については、住みやすい理由での割合が減り、住みにくい理由での割合が増えていることから、全体として何らかの不便さを感じている人が、前回調査よりも増えている傾向にある。



【参考】属性別 住みにくい理由（「やや住みにくい」「住みにくい」と回答した人）

前回調査と比較して上昇幅の大きい「交通の便が悪い」について、全体よりも割合が10%ポイント以上大きくなっているのは、校区別が「田川校区」「中央校区」、年代別が「20代」「70代」となっている。

同じく上昇幅が大きい「日用品の買い物が不便」については、校区別が「猪位金校区」「弓削田校区」、年代別が「60代」「80代」となっている。

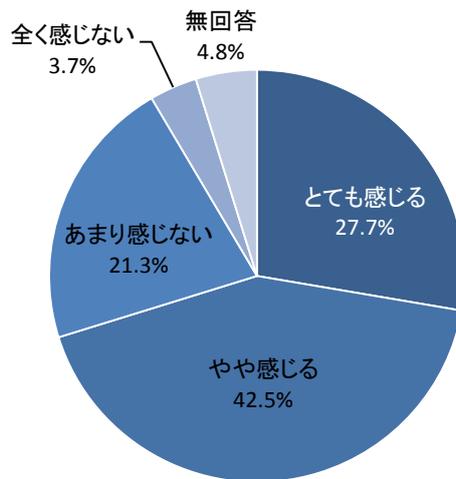
(%)	1 郷土・ふるさとでない	2 人情が薄い	3 自然環境がわるい	4 働きやすい環境が整っていない	5 物価が高い	6 日用品の買い物が不便	7 交通の便が悪い	8 治安がわるい	9 医療が充実していない	10 教育環境が整っていない	11 公共、公益施設が充実していない	12 娯楽施設が少ない	13 その他
全体(n=150)	12.0	10.0	11.3	48.7	8.7	41.3	79.3	25.3	27.3	26.0	38.7	37.3	6.0
男性(n=64)	14.1	9.4	12.5	42.2	7.8	42.2	76.6	28.1	34.4	29.7	46.9	35.9	7.8
女性(n=86)	10.5	10.5	10.5	53.5	9.3	40.7	81.4	23.3	22.1	23.3	32.6	38.4	4.7
猪位金校区(n=8)	12.5	25.0	37.5	75.0	0.0	62.5	87.5	37.5	25.0	37.5	50.0	37.5	0.0
弓削田校区(n=19)	5.3	5.3	5.3	52.6	15.8	68.4	68.4	26.3	21.1	15.8	47.4	36.8	5.3
後藤寺校区(n=20)	15.0	15.0	10.0	45.0	0.0	40.0	75.0	35.0	25.0	25.0	35.0	35.0	5.0
田川校区(n=14)	0.0	14.3	7.1	21.4	7.1	50.0	92.9	14.3	21.4	7.1	21.4	28.6	7.1
中央校区(n=11)	18.2	0.0	9.1	54.5	9.1	18.2	100.0	9.1	36.4	45.5	63.6	45.5	0.0
鎮西校区(n=24)	25.0	12.5	8.3	33.3	16.7	37.5	75.0	20.8	20.8	37.5	37.5	20.8	4.2
伊田校区(n=30)	3.3	10.0	13.3	56.7	13.3	33.3	80.0	26.7	30.0	30.0	36.7	50.0	3.3
金川校区(n=18)	11.1	0.0	11.1	61.1	0.0	22.2	72.2	33.3	38.9	16.7	27.8	50.0	22.2
無回答(n=6)	33.3	16.7	16.7	50.0	0.0	66.7	83.3	16.7	33.3	16.7	50.0	16.7	0.0
10歳代(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代(n=12)	33.3	8.3	25.0	41.7	8.3	50.0	91.7	41.7	50.0	50.0	33.3	41.7	16.7
30歳代(n=21)	9.5	9.5	9.5	42.9	4.8	38.1	81.0	38.1	38.1	23.8	42.9	42.9	4.8
40歳代(n=24)	16.7	0.0	4.2	41.7	8.3	33.3	66.7	29.2	16.7	37.5	45.8	29.2	0.0
50歳代(n=28)	14.3	14.3	7.1	57.1	0.0	25.0	78.6	25.0	25.0	25.0	46.4	46.4	10.7
60歳代(n=29)	6.9	10.3	20.7	62.1	20.7	51.7	75.9	13.8	24.1	13.8	31.0	27.6	0.0
70歳代(n=19)	10.5	21.1	5.3	63.2	10.5	42.1	89.5	26.3	21.1	26.3	26.3	42.1	10.5
80歳代(n=10)	0.0	10.0	20.0	20.0	0.0	60.0	80.0	20.0	30.0	20.0	50.0	40.0	0.0
90歳代(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答(n=6)	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	50.0	83.3	0.0	33.3	16.7	33.3	33.3	16.7

全体よりも10%ポイント(該当者1名の90歳代除く)

### 【田川市に住み続けたいかどうか】

今後も田川市に住み続けたいかについては、「やや感じる」が42.5%と最も多く、次いで「とても感じる」が27.7%となった。「とても感じる」「やや感じる」は70.2%となっている。

**問3** 今後も田川市に「住み続けたい」と感じますか。あなたの考え方に近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。また、その理由もお答えください。

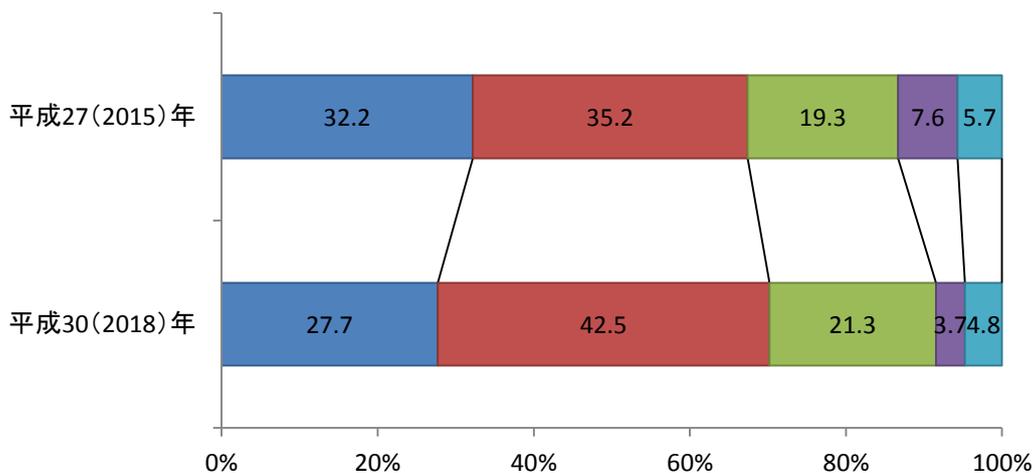


N=567

### 【参考】平成27年（2015）年市民意識調査との比較

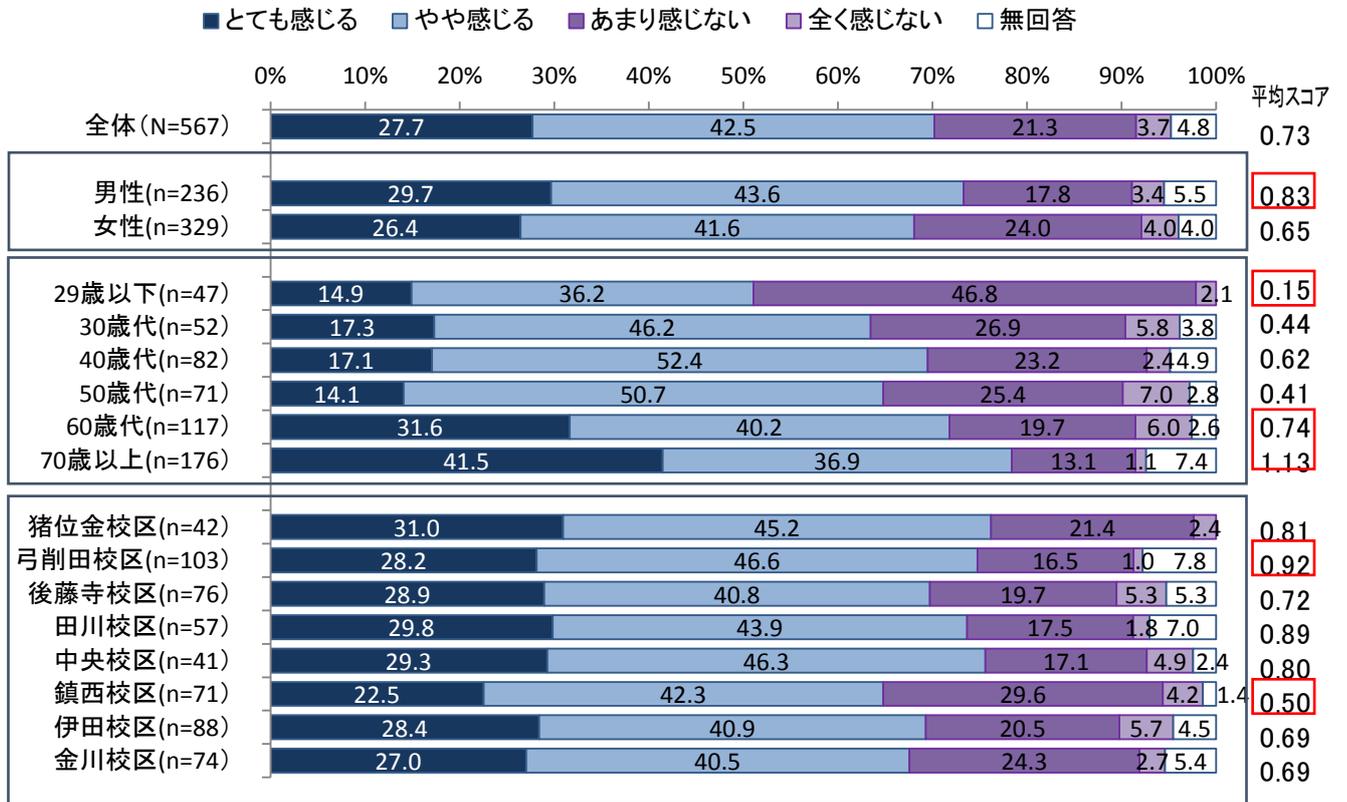
平成27（2015）年調査と比較すると「とても感じる」が▲4.5%ポイント減少、「やや感じる」が7.3%ポイント上昇となり、「とても感じる」「やや感じる」を併せると2.8%ポイントの上昇となった。一方「全く感じない」は▲3.9%ポイント減少した。

■とても感じる ■やや感じる ■あまり感じない ■全く感じない ■無回答



**【参考】田川市に住み続ける意向と属性別の傾向（平均スコア）**

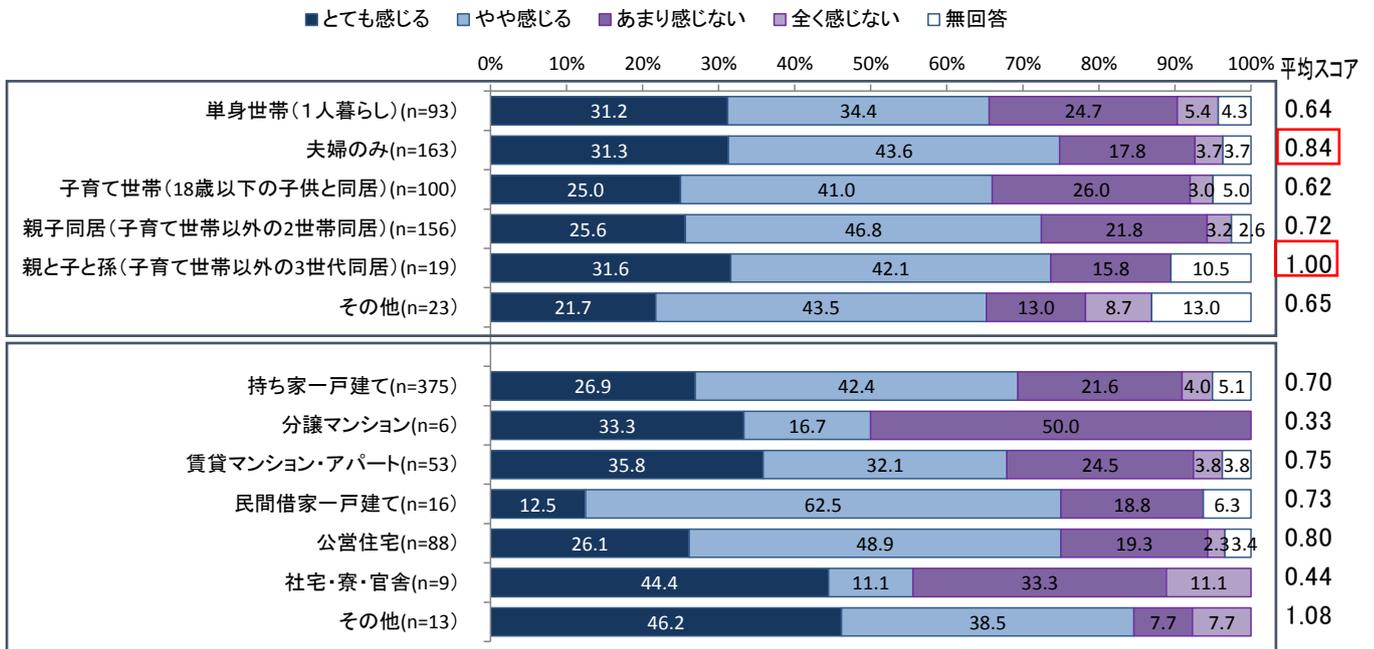
- ・ 男女別にみると、男性が 0.83、女性が 0.65 と男性の方が高い。
- ・ 年代別でみると、60 代、70 代での平均スコアが高い一方、29 歳以下は 0.15 と極端に低くなっている。
- ・ 地区別では、弓削田校区が 0.92 と最も高い一方、鎮西校区が 0.50 と最も低い。



注) 平均スコアの算定方法は1 ページを参照

【参考】田川市に住み続ける意向と同居・居住形態別の傾向（平均スコア）

- 世帯形態別にみると、親と子と孫の3世代同居の平均スコアが1.00と最も高く、次いで夫婦のみが0.84となった。



注) 平均スコアの算定方法は1ページを参照

**【参考】住み続けたいと感じる理由の順位（「とても感じる」「やや感じる」と回答した人）**

（記述式、複数回答）

第1位	故郷（66人）
第2位	住みやすい、住み慣れた（57人）
第3位	持ち家がある（34人）
第4位	家族、親族、知人がいる（26人）

**【参考】住み続けたいと感じない理由の順位（「あまり感じない」「感じない」と回答した人）**

（記述式、複数回答）

第1位	公共交通が不便（23人）
第2位	子育て・教育環境への不安（11人）
第3位	商店等が少ない。買い物が不便（10人）
第4位	車の運転ができなくなった時の不安（10人）

### (3) 田川市での暮らしについての満足度と重要度

#### 【田川市の暮らしについての満足度】

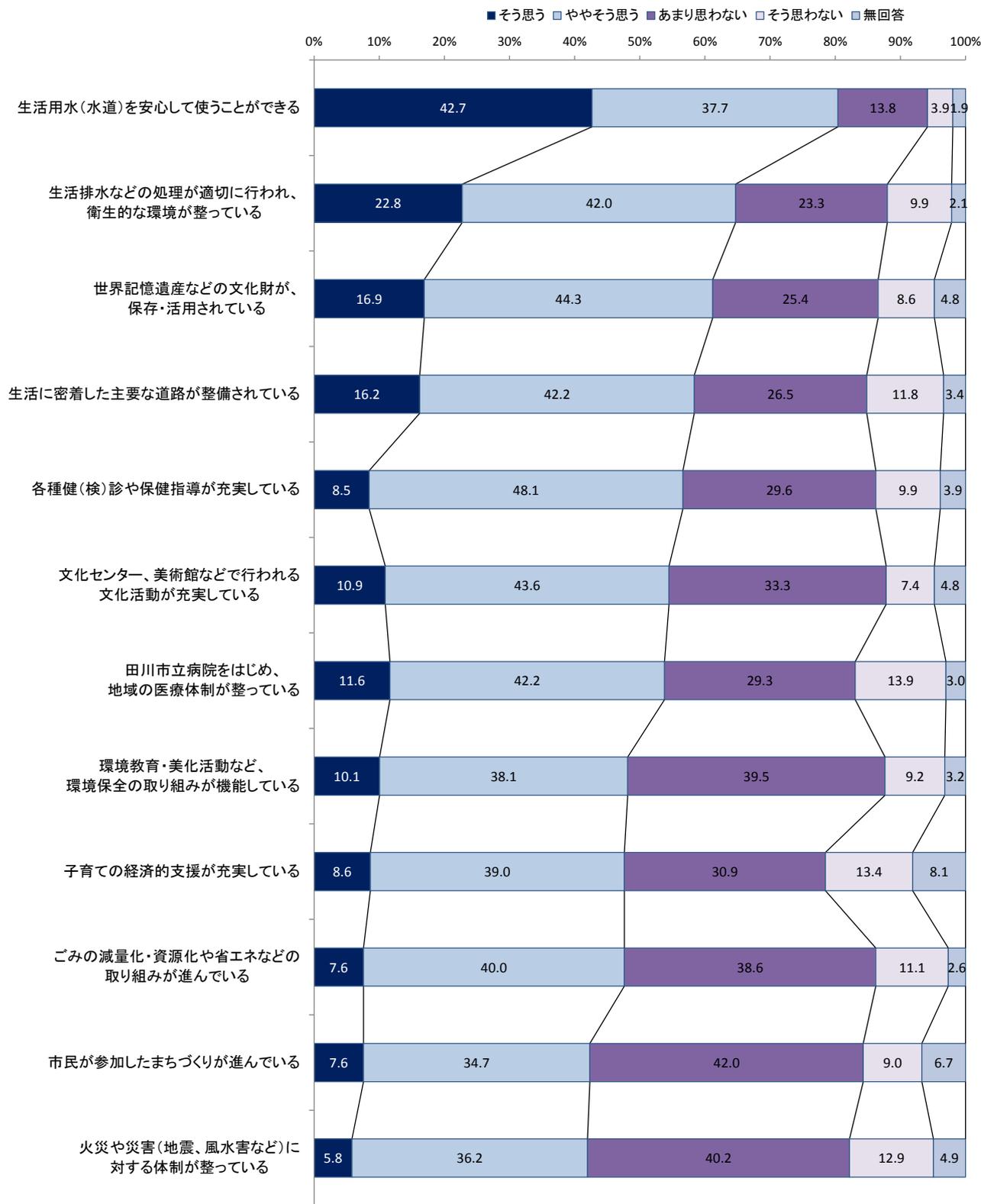
田川市の満足度\*についてみると、「生活用水（水道）を安心して使うことができる」（1位）、「生活排水などの処理が適切に行われ、衛生的な環境が整っている」（2位）、「生活に密着した主要な道路が整備されている」（4位）という、生活基盤に関する項目の満足度が上位を占めている。また、「世界遺産などの文化財が、保存・活用されている」（3位）、「文化センター、美術館などで行われる文化活動が充実している」（6位）と文化に関する項目の満足度も比較的高い。

一方、「にぎわいのある市街地が形成されている」（32位）、「中心市街地の商業施設が充実している」（34位）、「多くの観光客が訪れている」（36位）など、まちのにぎわいに関する項目や、「企業の誘致や支援、起業育成による産業振興・雇用対策が充実している」（33位）、「求職者が就職しやすい環境が整っている」（35位）といった産業・雇用に関する項目の満足度が下位を占めている。

\*「満足度」は、「そう思う」「ややそう思う」の合計

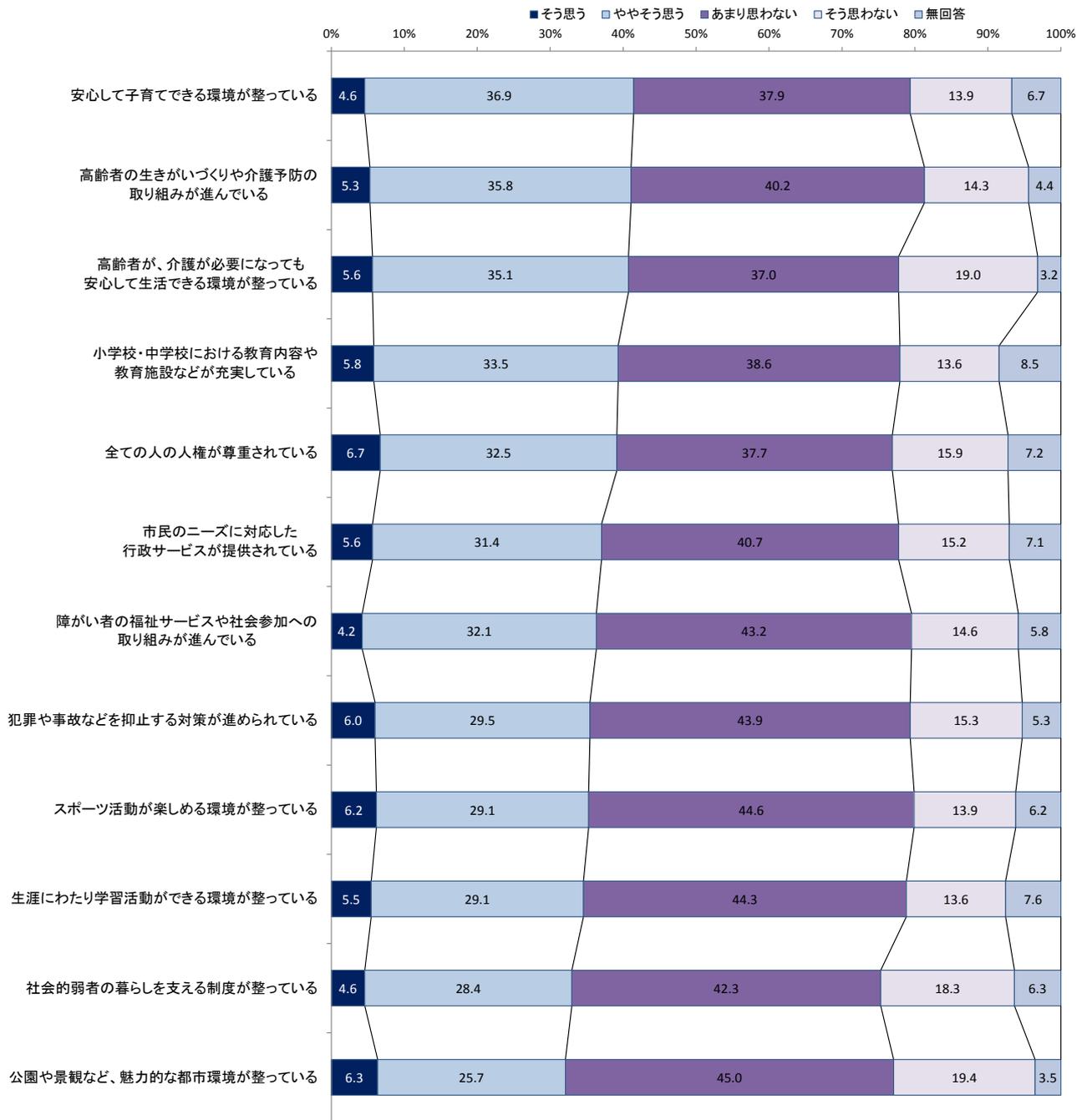
問4 あなたは、自分の住んでいる地域のことについてどのように感じていますか。1～36の全ての質問について、あなたの考え方に近いものを1つ選んで番号に○をつけてください

【満足度①】



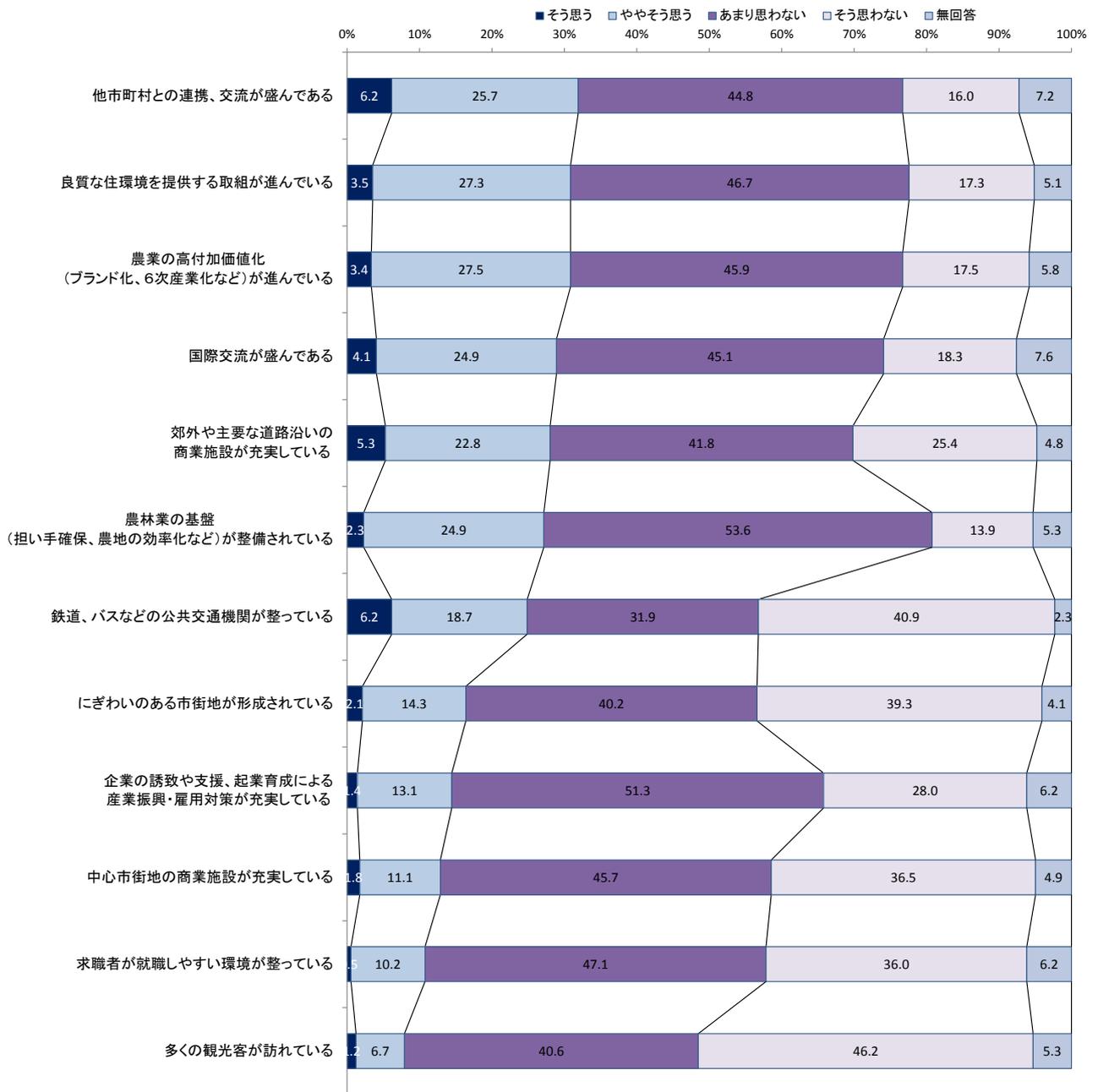
N=567

【満足度②】



N=567

【満足度③】



N=567

### 【田川市の暮らしについての重要度】

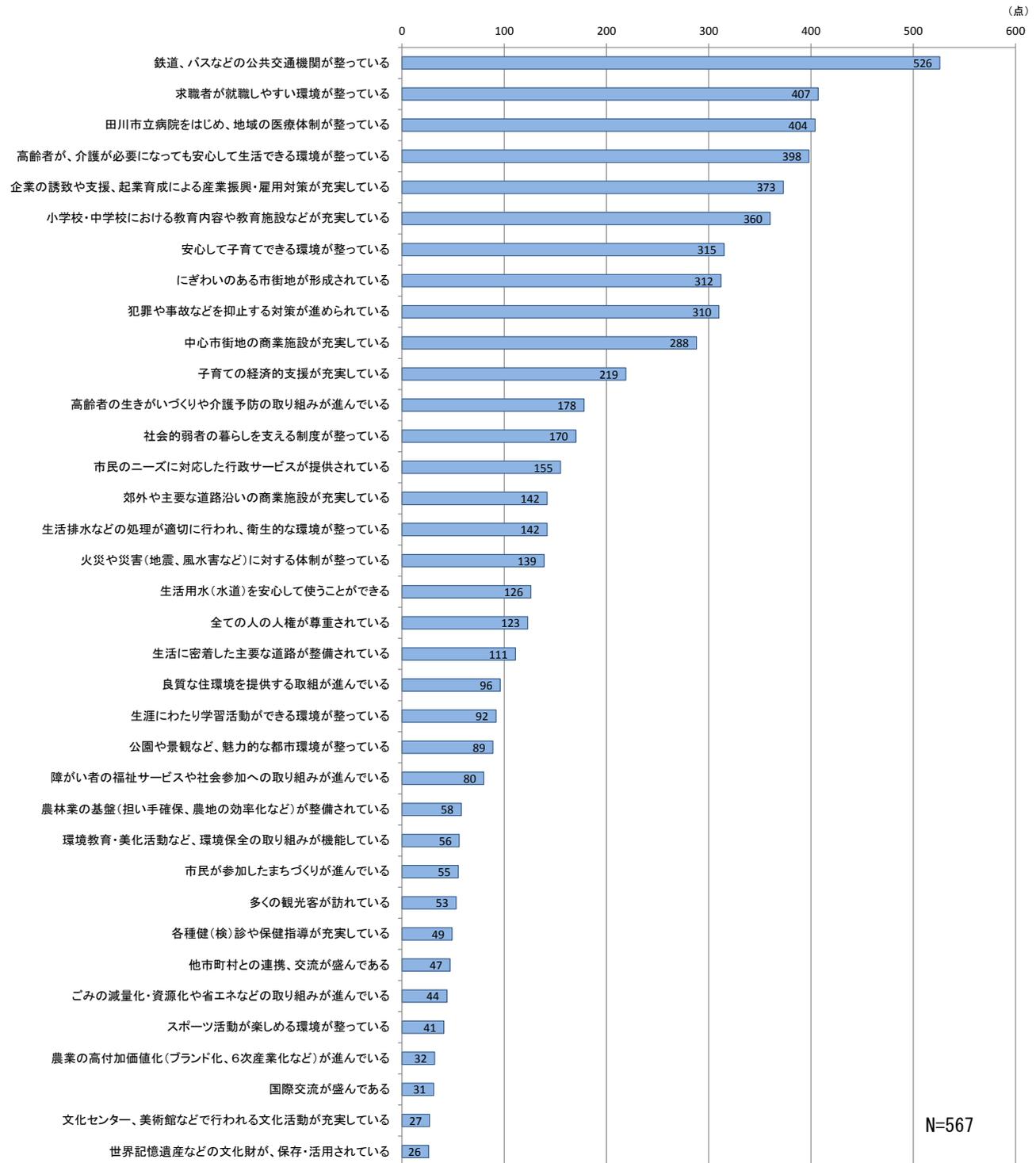
田川市の暮らしについて、今後何が重要か 5 つ選び順位を付けてもらい、順位に応じて点数化した。その結果、最も点数が高いのは「鉄道、バスなどの公共交通機関が整っている」(526 点)となった。

上位 5 位をみると、2 位の「求職者が就職しやすい状況が整っている」(407 点)、5 位の「企業の誘致や支援、起業育成による産業振興・雇用対策が充実している」(373 点)といった産業、雇用対策、3 位の「田川市立病院をはじめ、地域の医療が整っている」(404 点)や 4 位の「高齢者が、介護が必要になっても安心して生活できる環境が整っている」(398 点)など、医療・福祉に関する重要度の順位が高い。

一方、「文化センター、美術館などで行われる文化活動が充実している」(27 点)が 35 位、「世界記憶遺産などの文化財が、保存・活用されている」(26 点)が 36 位と、文化に関する重要度の順位が低い。

## 田川の暮らしについての重要度（点数順位）

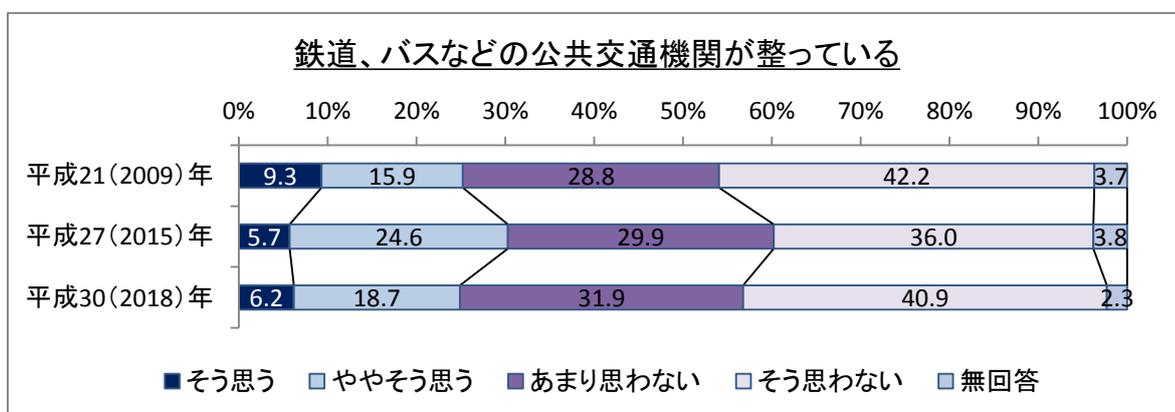
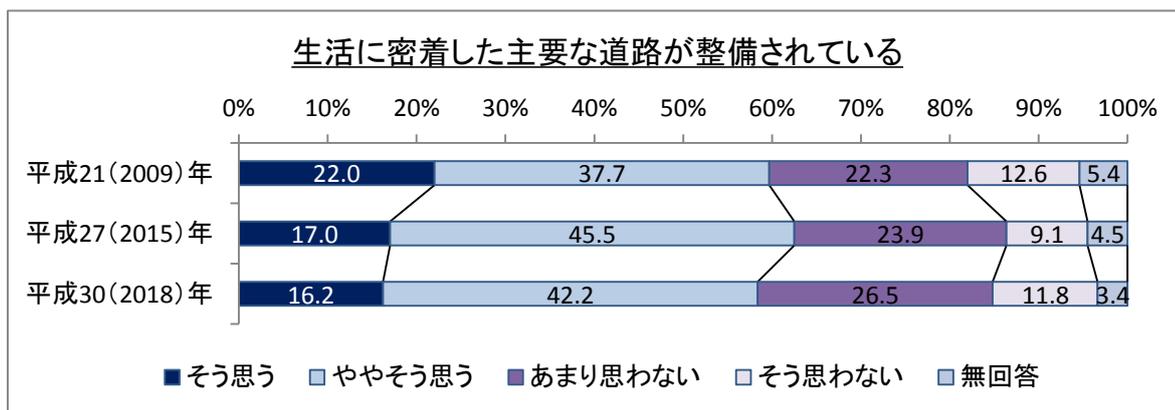
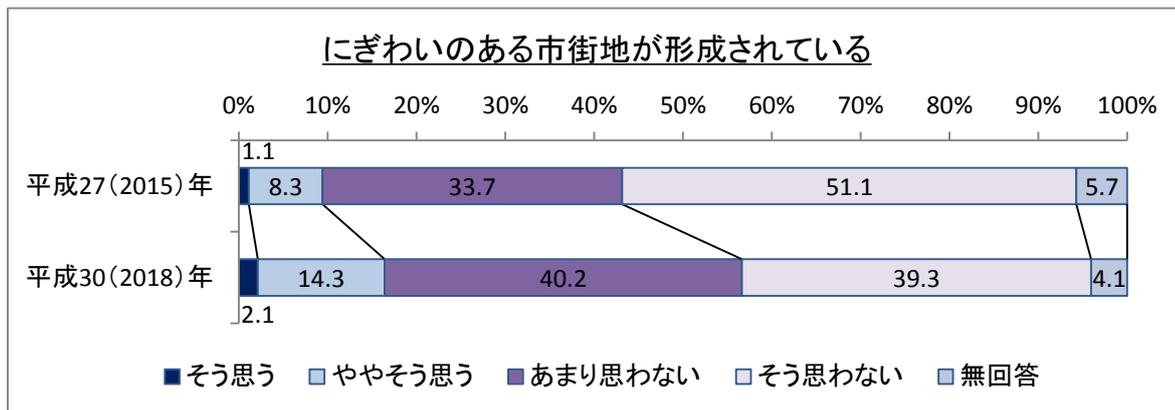
問5 問4の1から36の質問内容のうち、田川市のまちづくりで何が重要だと思いますか。重要であると思う項目を5つ選んで、重要度の高いものから番号を記入してください。



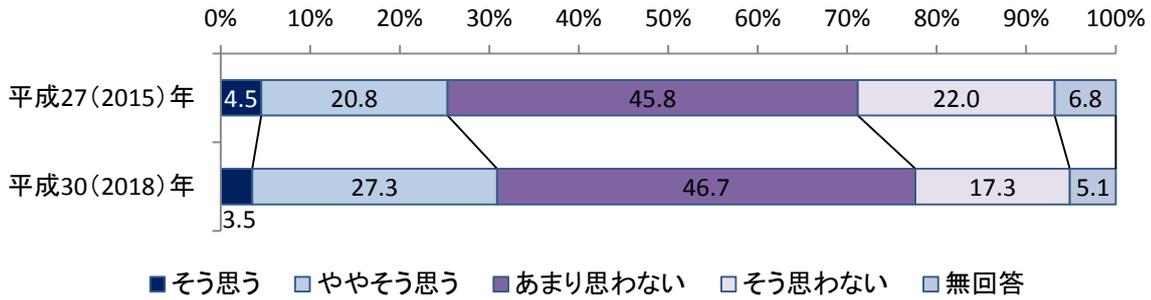
※1番目：5点、2番目：4点、3番目：3点、4番目：2点、5番目：1点として点数化

**【参考】平成21年（2009）年、平成27年（2015）年市民意識調査との比較**

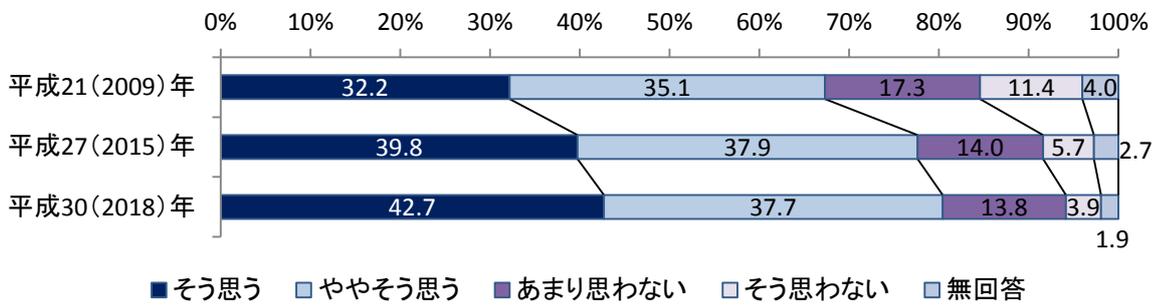
前回調査（平成21（2009）年、平成27（2015）年）について、「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合を比較したところ、「生活排水などの処理が適切に行われ、衛生的な環境が整っている」（24.2%ポイント増）が最も大きく上昇し、次いで「国際交流が盛んである」（+18%ポイント）、「農業の付加価値が進んでいる」（+15.3%ポイント）となった。一方、スコアが最も下がったのは「郊外や主要な道路沿いの商業施設が充実している」（▲11.9%ポイント）となった。



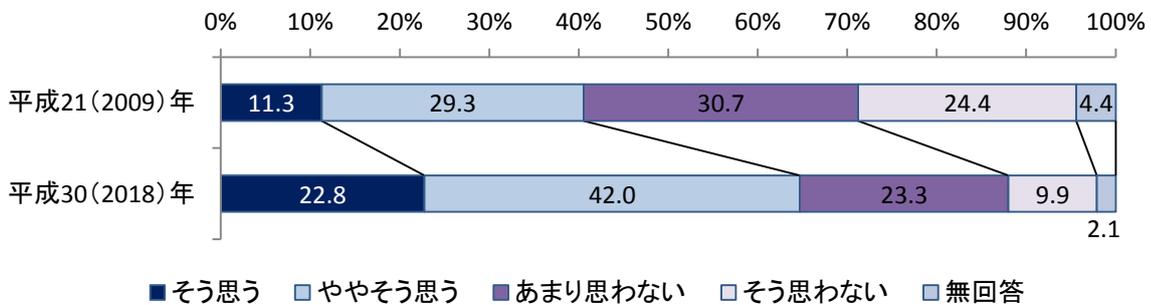
### 良質な住環境を提供する取組が進んでいる



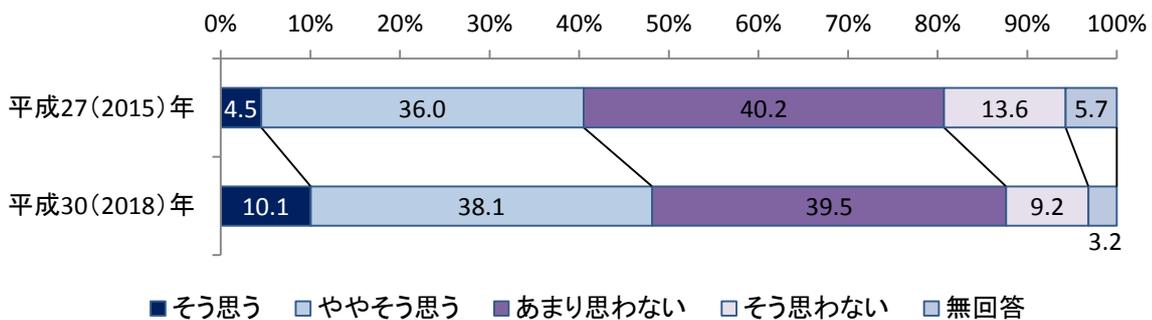
### 生活用水(水道)を安心して使うことができる



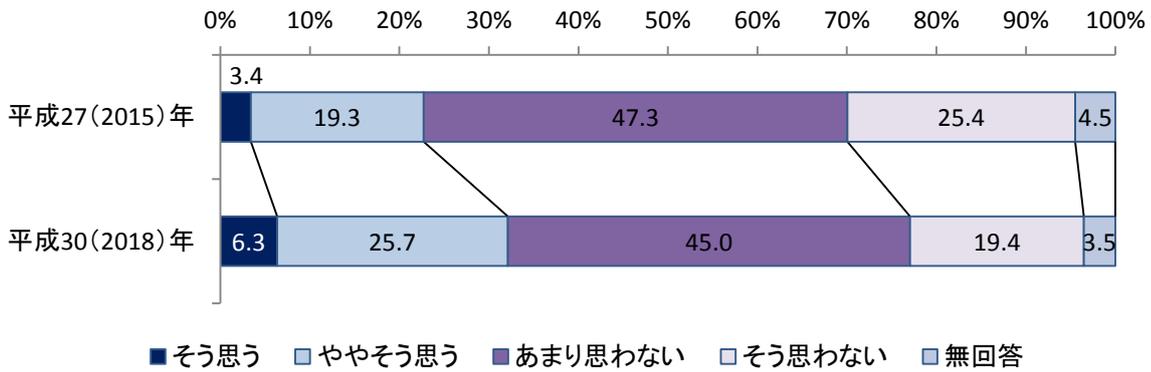
### 生活排水などの処理が適切に行われ、衛生的な環境が整っている



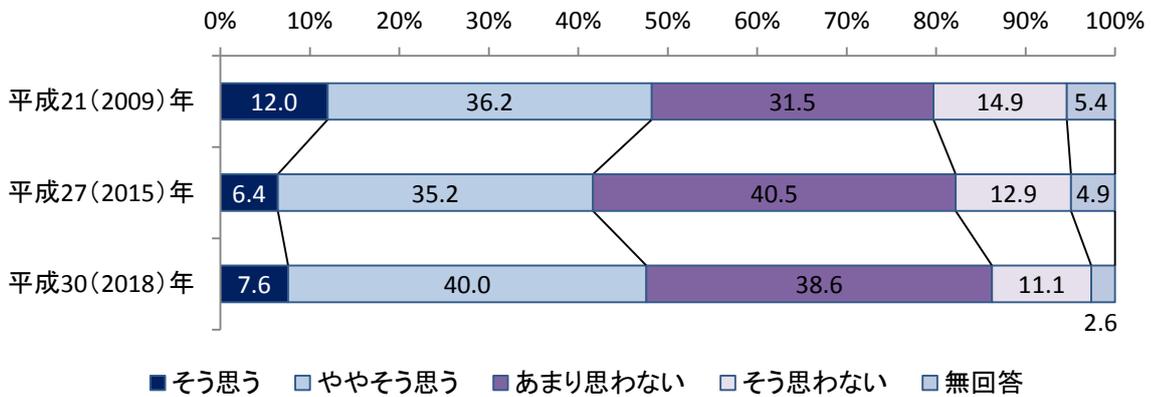
### 環境教育・美化活動など、環境保全の取り組みが機能している



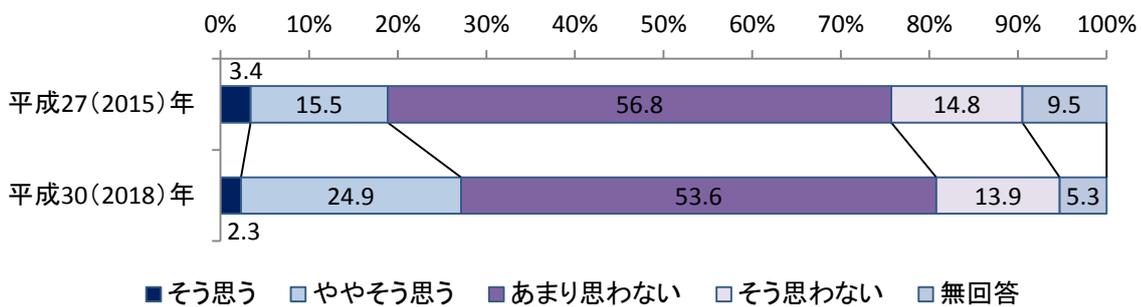
公園や景観など、魅力的な都市環境が整っている



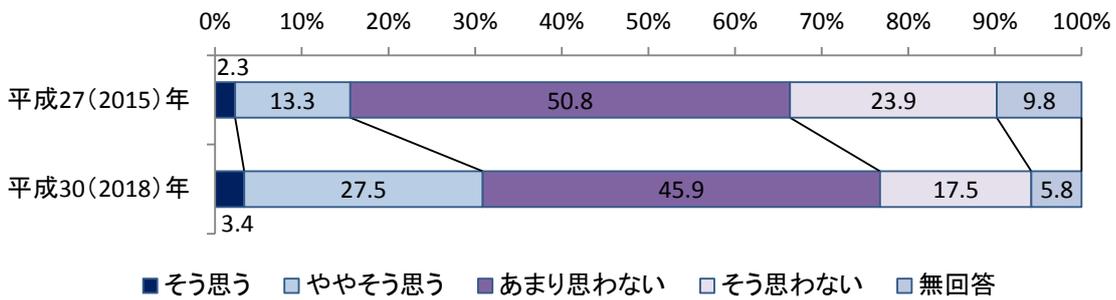
ごみの減量化・資源化や省エネなどの取り組みが進んでいる



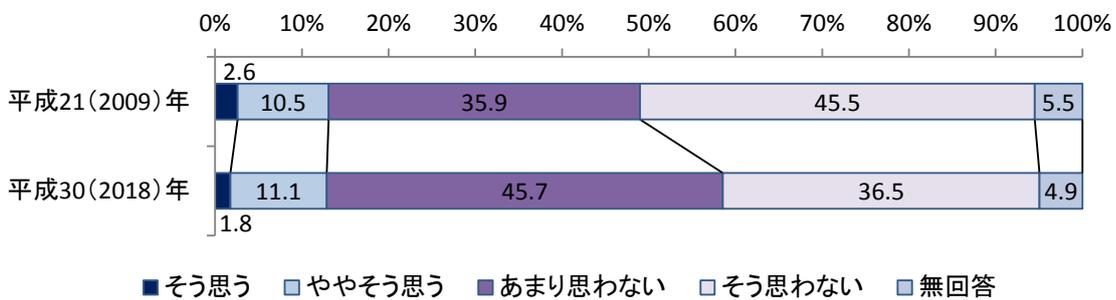
農林業の基盤(担い手確保、農地の効率化など)が整備されている



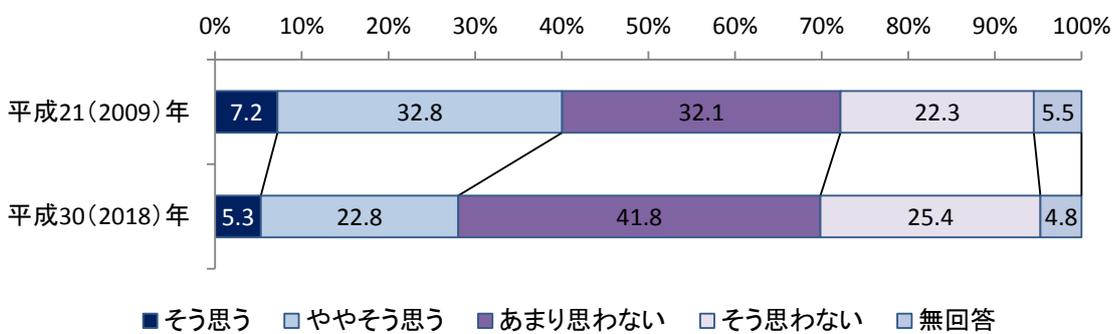
### 農業の高付加価値化(ブランド化、6次産業化など)が進んでいる



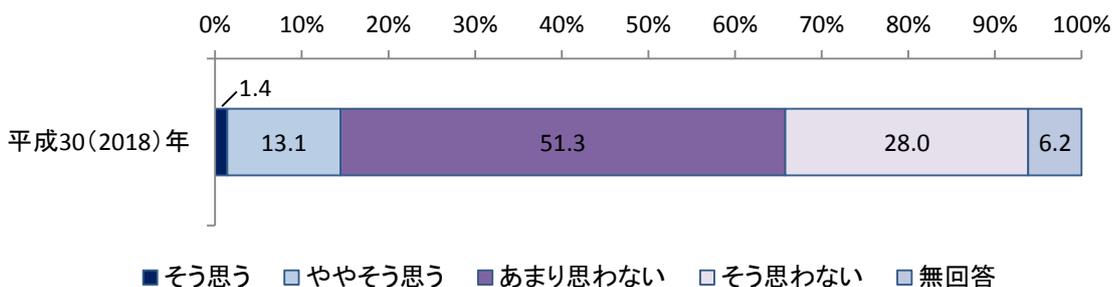
### 中心市街地の商業施設が充実している



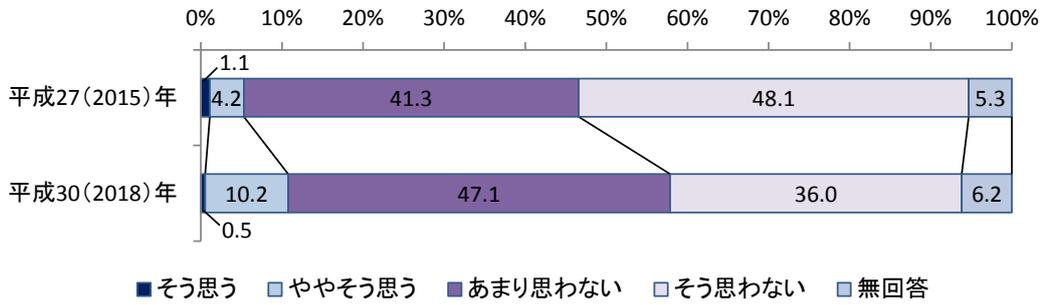
### 郊外や主要な道路沿いの商業施設が充実している



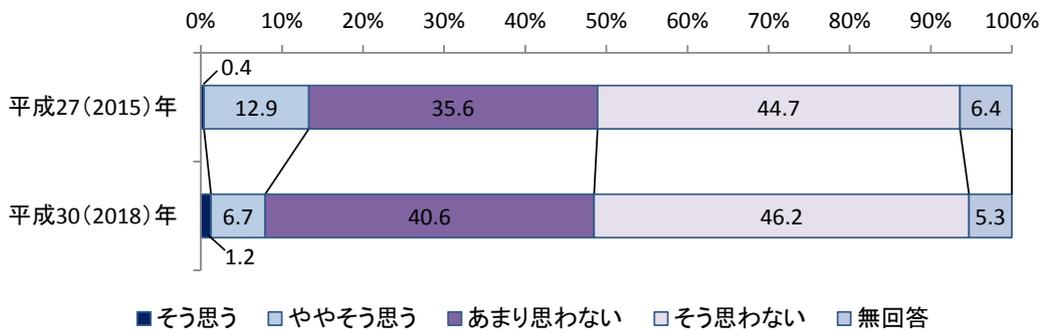
### 企業の誘致や支援、起業育成による産業振興・雇用対策が充実している



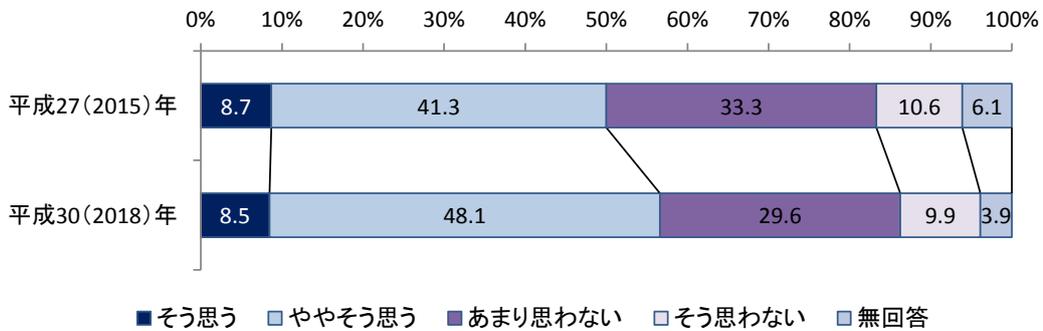
求職者が就職しやすい環境が整っている



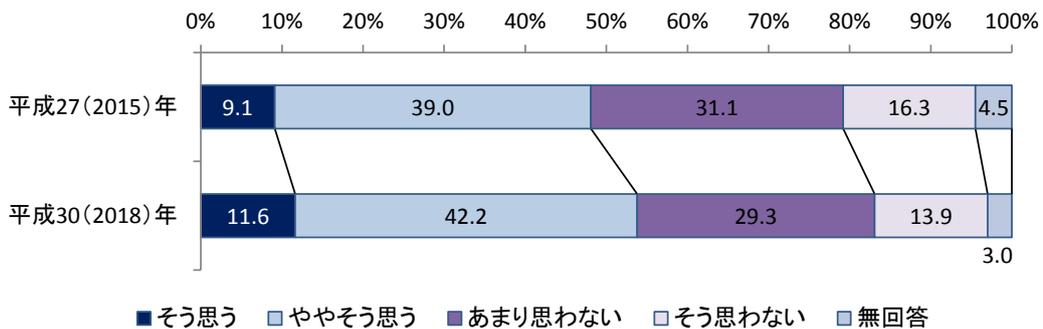
多くの観光客が訪れている



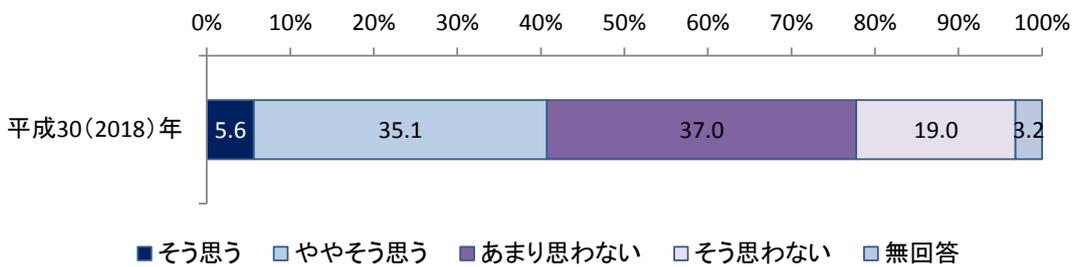
各種健(検)診や保健指導が充実している



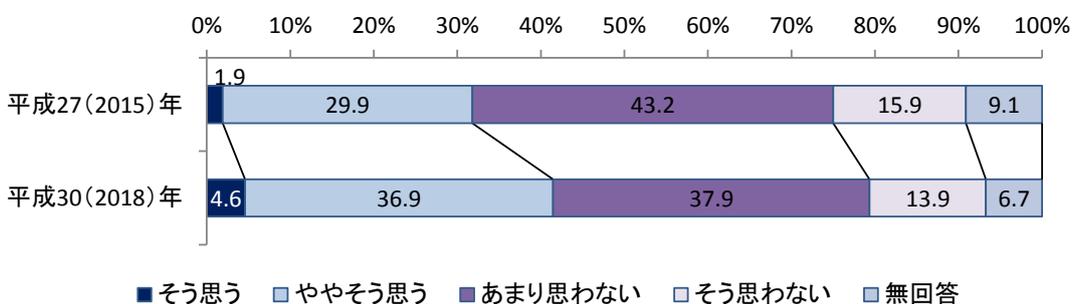
田川市立病院をはじめ、地域の医療体制が整っている



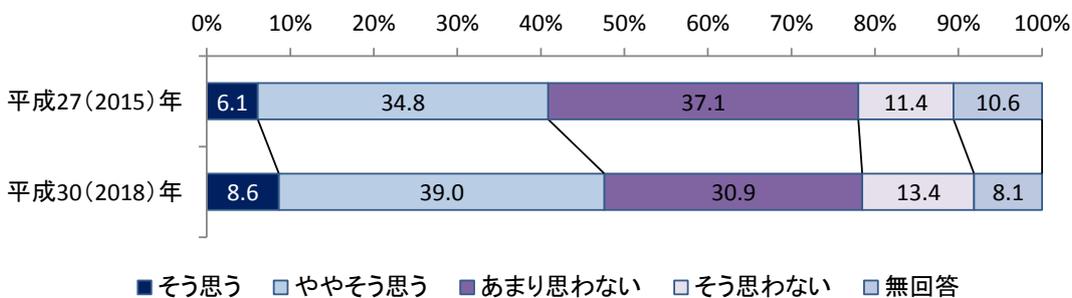
高齢者が、介護が必要になっても  
安心して生活できる環境が整っている



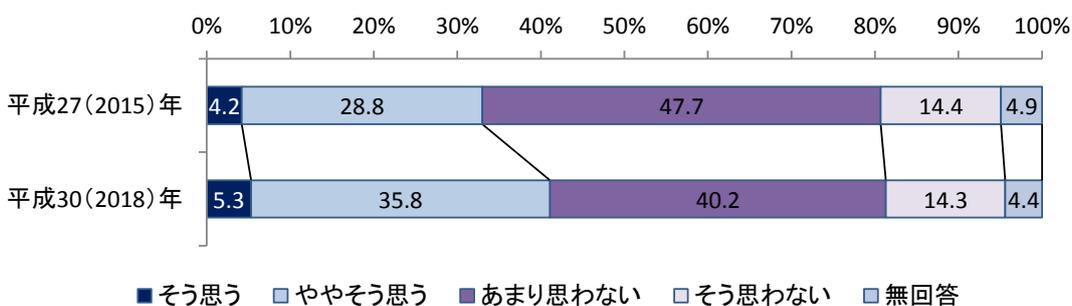
安心して子育てできる環境が整っている



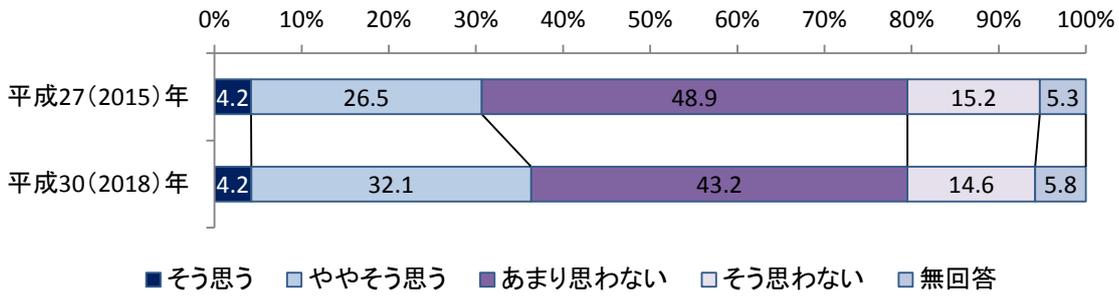
子育ての経済的支援が充実している



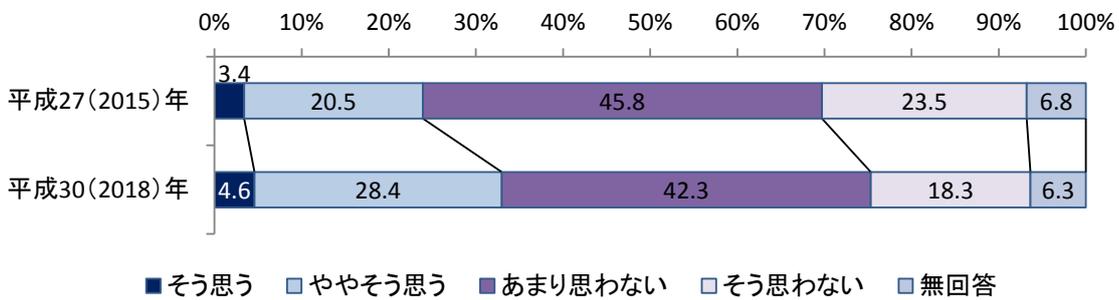
高齢者の生きがいづくりや介護予防の取り組みが進んでいる



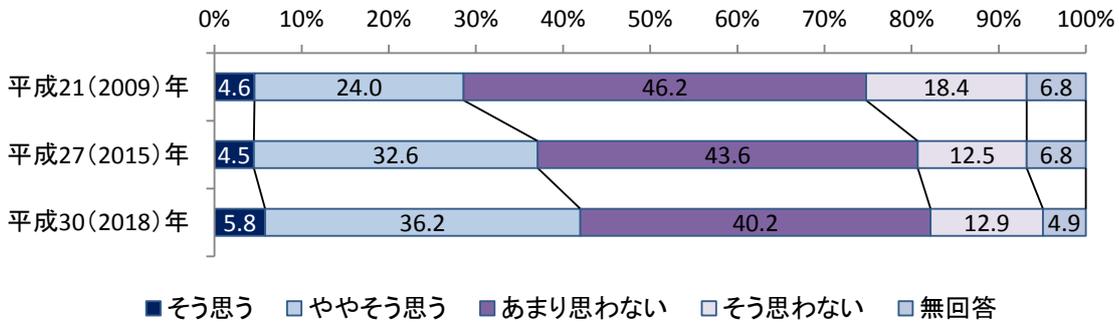
障がい者の福祉サービスや社会参加への取り組みが進んでいる



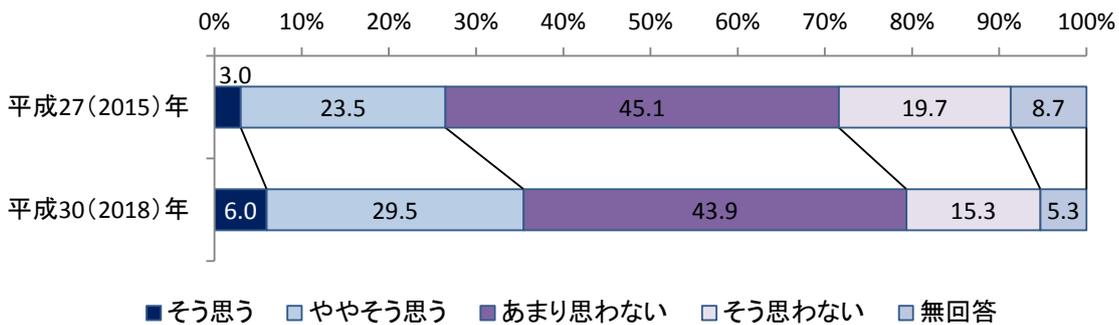
社会的弱者の暮らしを支える制度が整っている



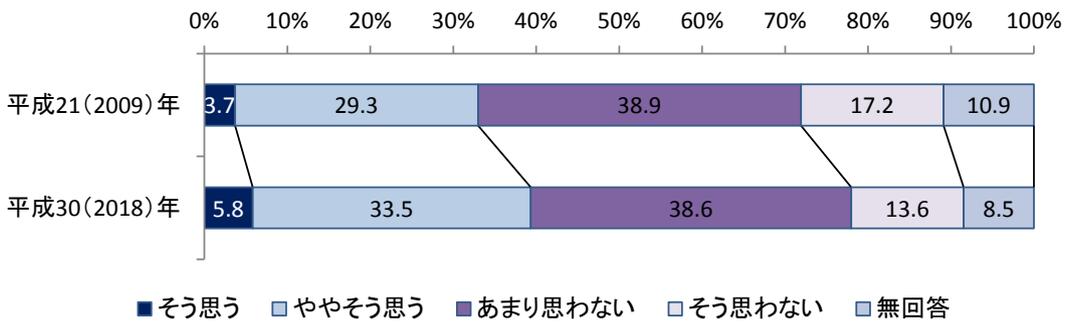
火災や災害(地震、風水害など)に対する体制が整っている



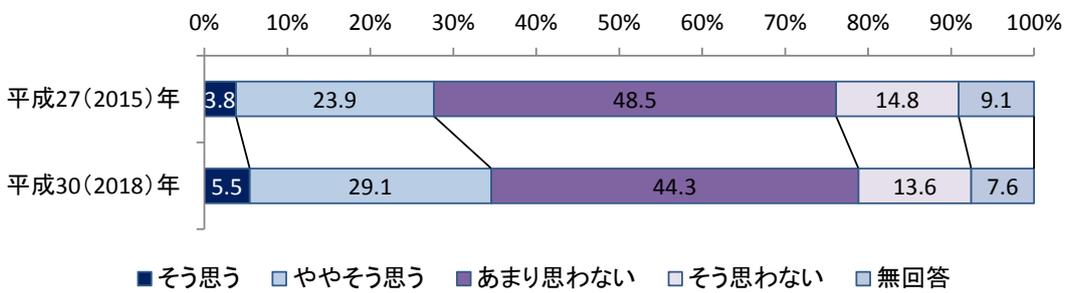
犯罪や事故などを抑止する対策が進められている



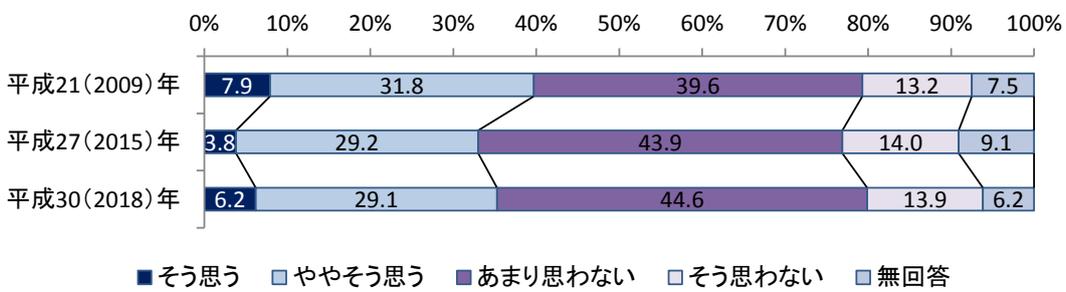
### 小学校・中学校における教育内容や教育施設などが充実している



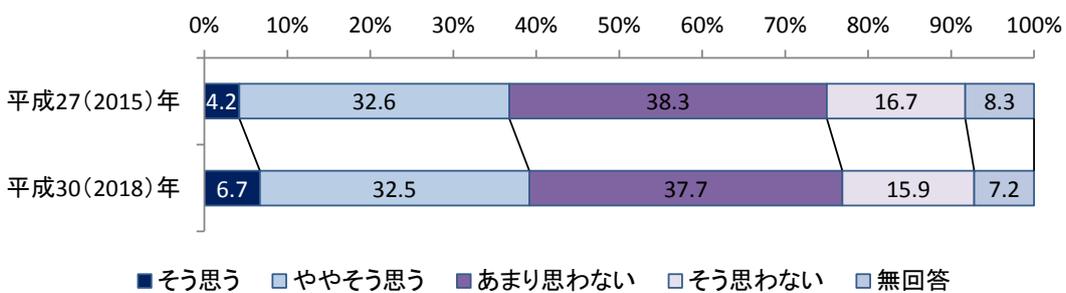
### 生涯にわたり学習活動ができる環境が整っている



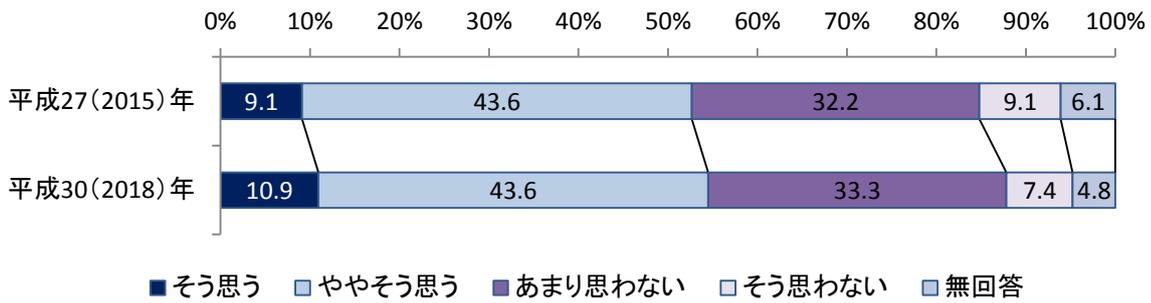
### スポーツ活動が楽しめる環境が整っている



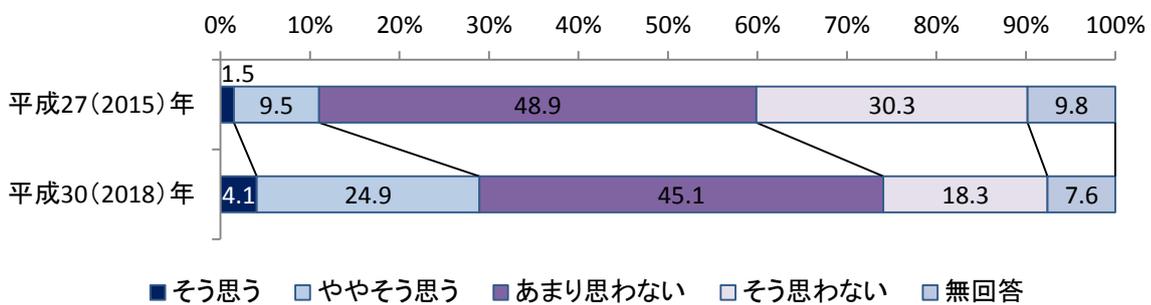
### 全ての人の人権が尊重されている



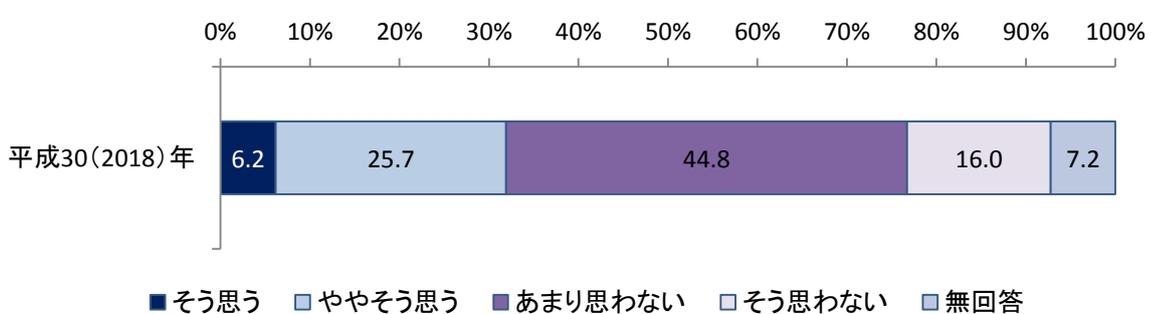
### 文化センター、美術館などで行われる文化活動が充実している



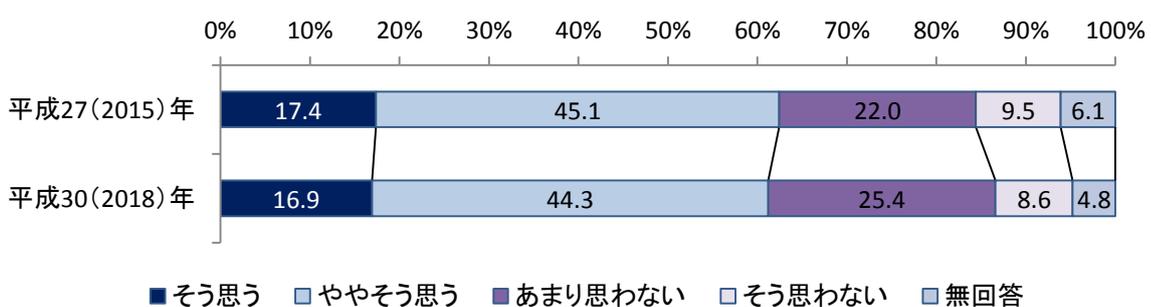
### 国際交流が盛んである



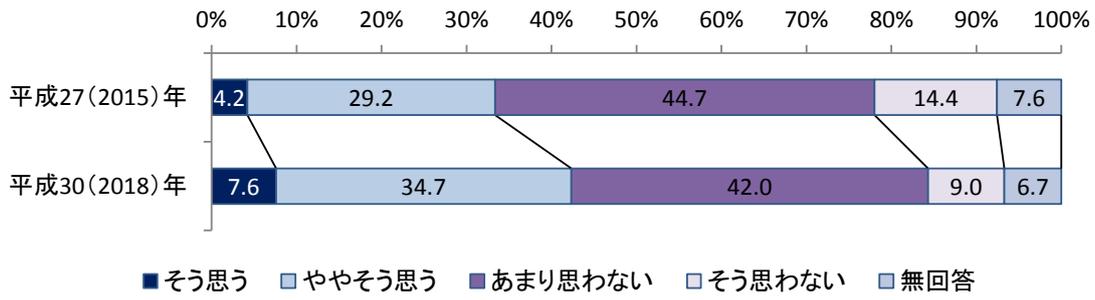
### 他市町村との連携、交流が盛んである



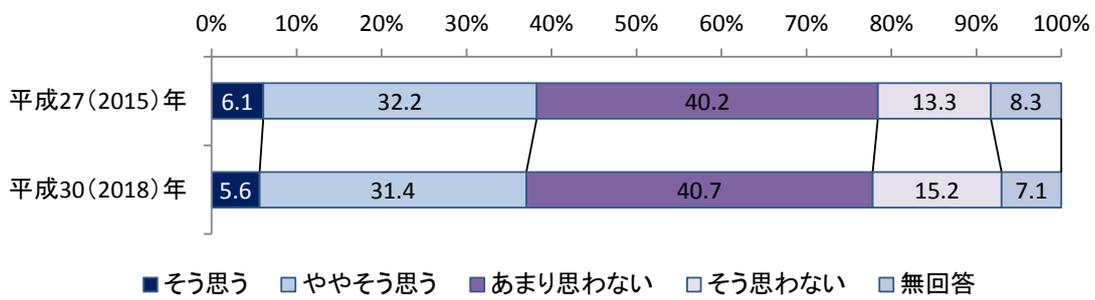
### 世界記憶遺産などの文化財が、保存・活用されている



### 市民が参加したまちづくりが進んでいる



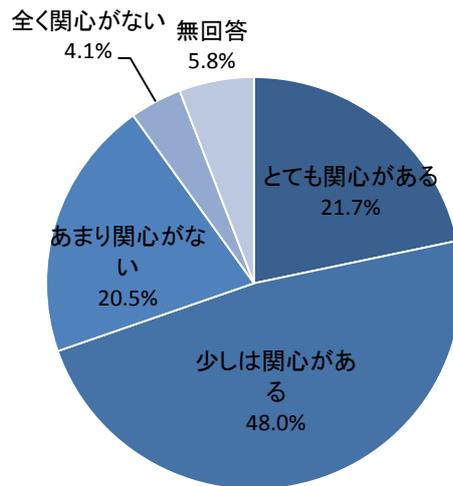
### 市民のニーズに対応した行政サービスが提供されている



#### (4) 市政への関心度

市政への関心度は「少しは関心がある」が48.0%と最も多く、次いで「とても関心がある」が21.7%となっている。

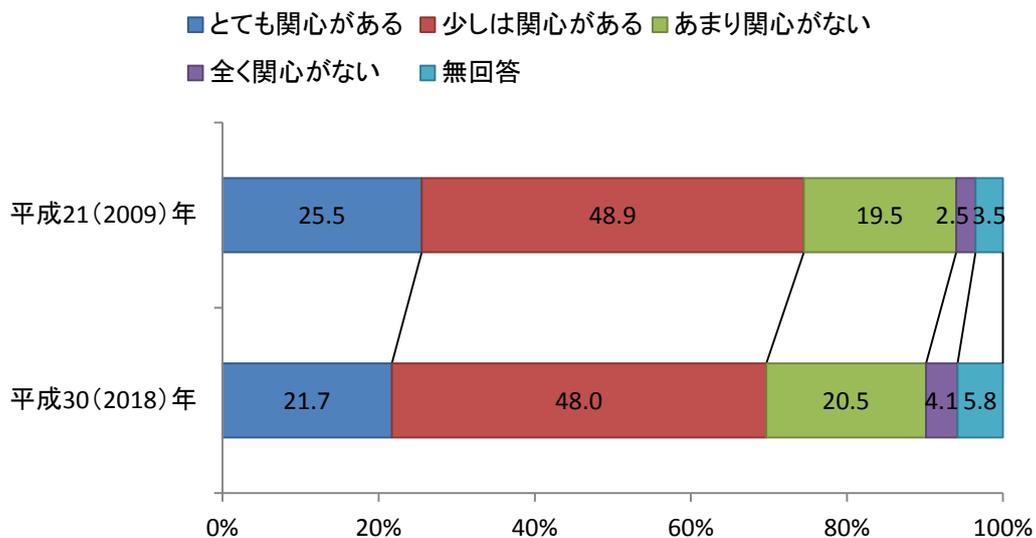
**問6** あなたは、市政（田川市の行っている業務）全般についての関心をお持ちですか。あなたの考え方に近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。



N=567

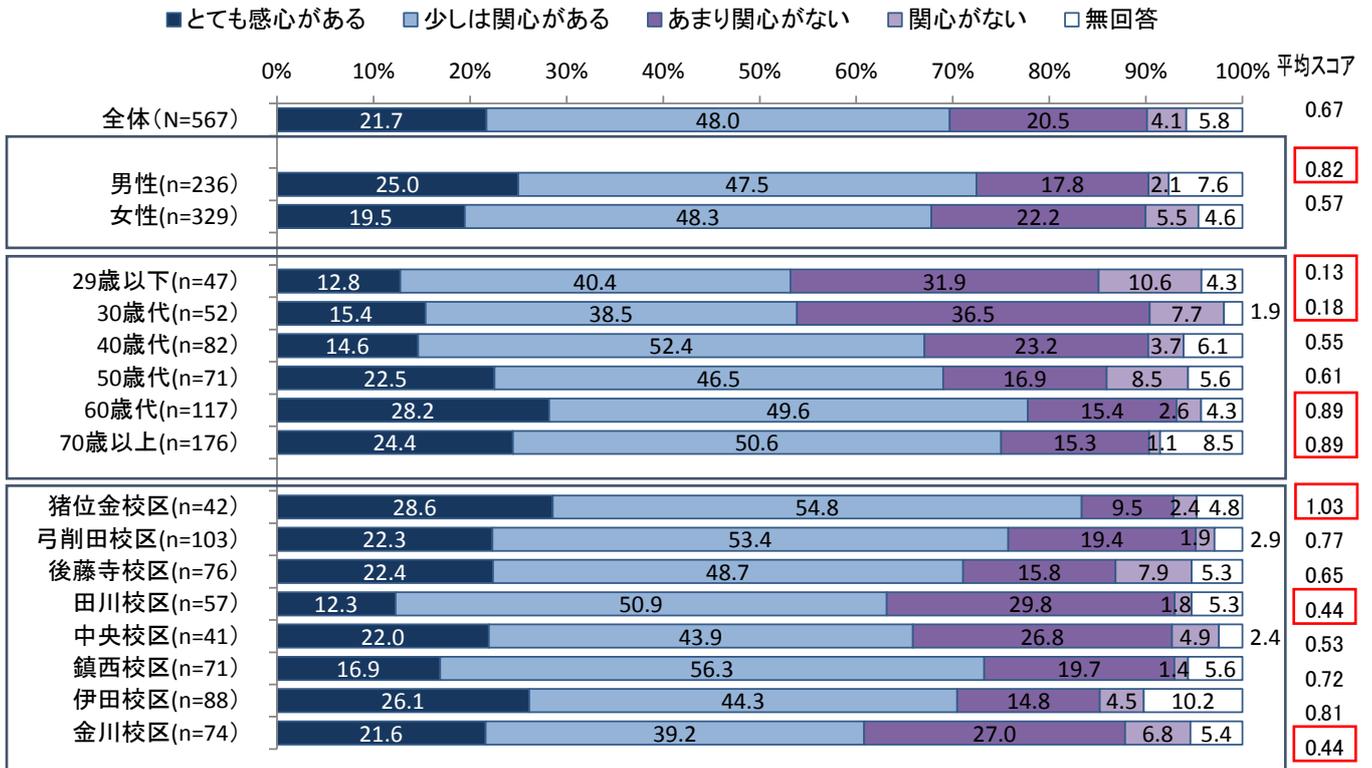
#### 【参考】平成21（2009）年市民意識調査との比較

平成21（2009）年調査と比較すると「とても関心がある」が▲3.8%ポイント、「少しは関心がある」が▲0.9%ポイントとなっており、市民の市政への関心度が若干減少している。



【参考】 市政への関心と属性別の傾向（平均スコア）

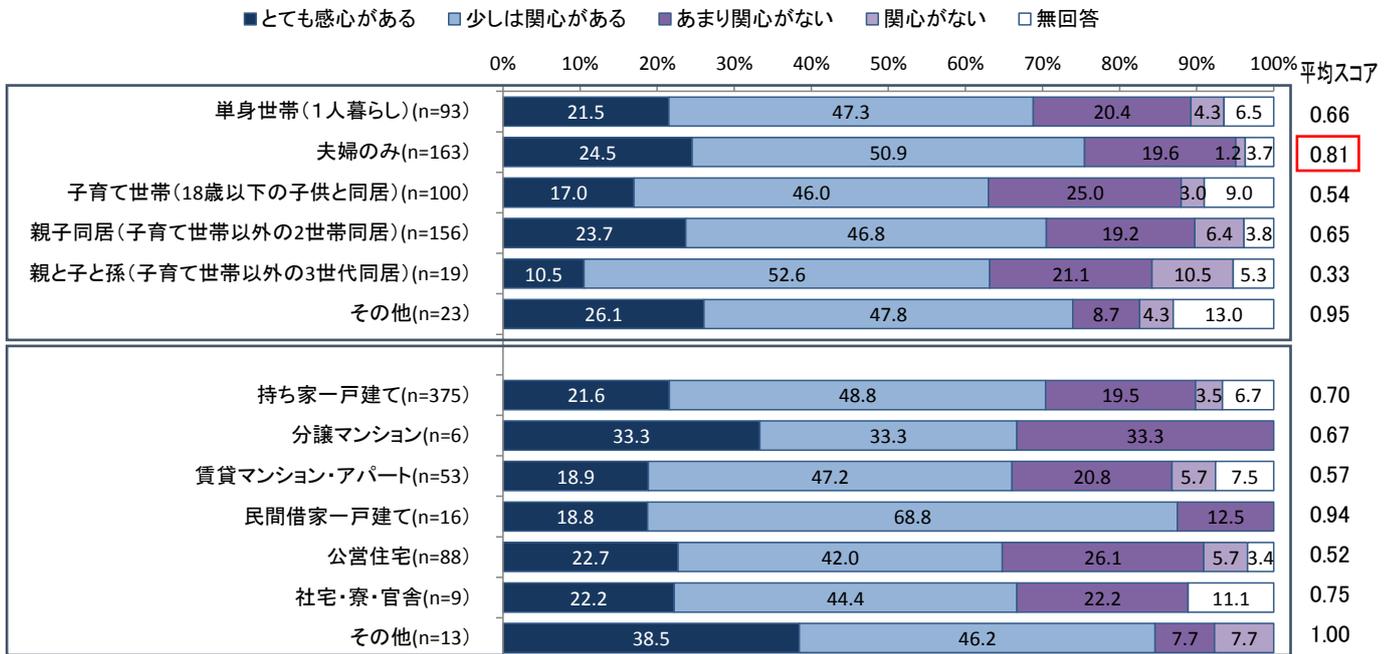
- ・ 男女別にみると、男性が 0.82、女性が 0.57 と男性の方が高い。
- ・ 年代別でみると、60 代での平均スコアが高い一方、29 歳以下 0.13、30 歳代 0.18 と若年層が極端に低くなっている。
- ・ 地区別では、猪位金校区が 1.03 と最も高い一方、田川校区、金川校区が 0.44 と最も低い。



注) 平均スコアの算定方法は 1 ページを参照

【参考】 市政への関心と同居・居住形態別の傾向（平均スコア）

・ 世帯形態別にみると、夫婦のみが 0.81 と元とも高い。



注) 平均スコアの算定方法は1ページを参照

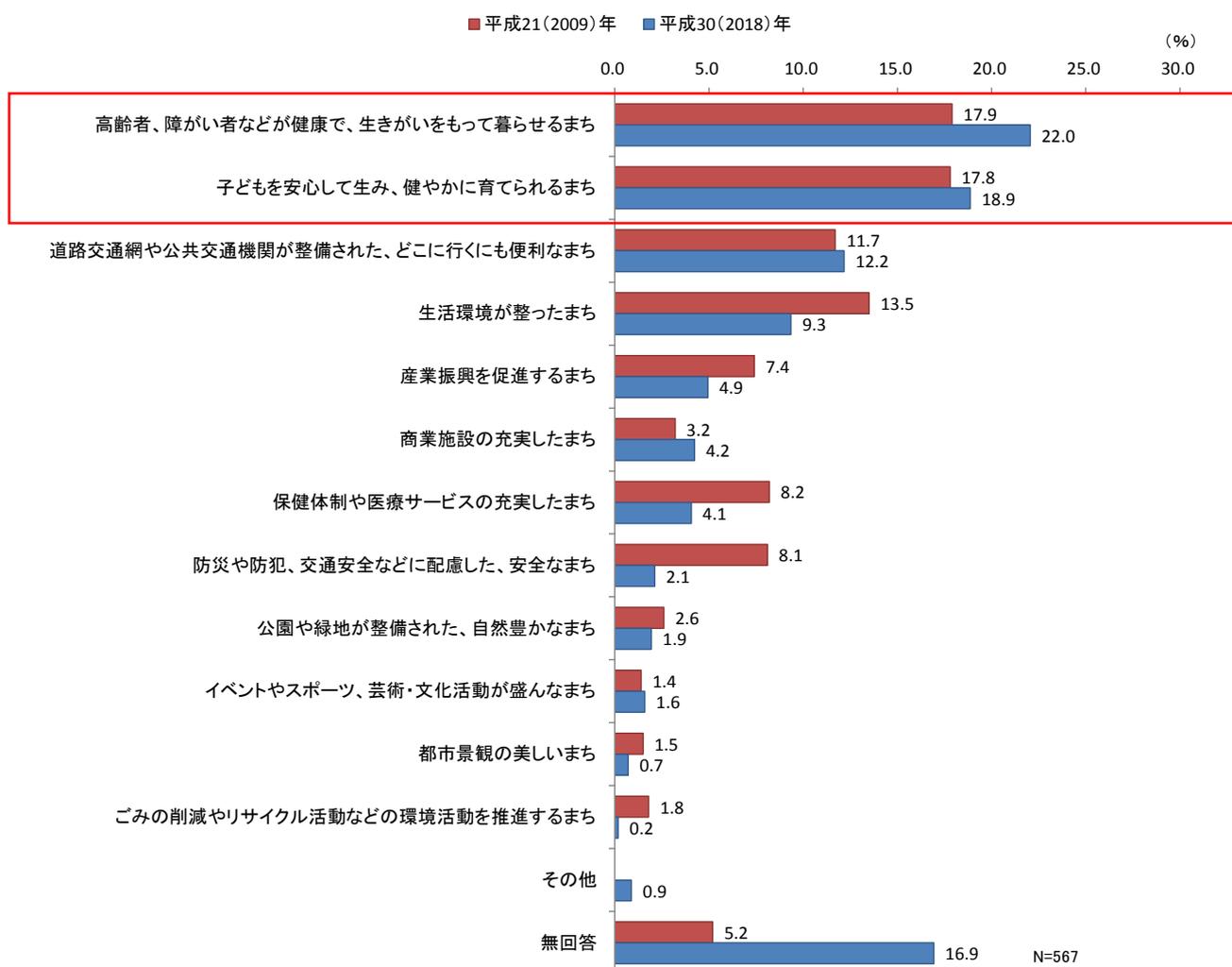
## (5) 田川市の将来について

希望する田川市の将来は、「高齢者、障がい者などが健康で、生きがいをもって暮らせるまち」が22.0%と最も多く、次いで「子どもを安心して生み、健やかに育てられるまち」が18.9%となっている。

上位2位の項目については、前回調査よりもいずれも回答割合が上昇していることから、より重要度が高まっていると考えられる。

また、2位となった「子どもを安心して生み、健やかに育てられるまち」については、40歳代以下の子育て世代の割合が、各世代で10%ポイント以上上昇している。

**問7** あなたは、将来、田川市がどのようなまちになるとよいと思いますか。一番近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。



【参考】田川市の将来についてと属性別の傾向

割合

	まち で、生きがいをも って暮らせる	高齢者、障がい者 などが健康	子どもを安心して 生み、健やかに 育てられるまち	生活環境が整った まち	道路交通網や公共 交通機関が整備 された、どこに行 くにも便利な まち	保健体制や医療サ ービスの充実 したまち	防災や防犯、交通 安全などに配 慮した、安全な まち	産業振興を促進す るまち	商業施設の充実し たまち	公園や緑地が整備 された、自然 豊かなまち	ごみの削減やリサ イクル活動な どの環境活動を 推進するまち	都市景観の美しい まち	イベントやスポーツ 、芸術・文 化活動が盛んな まち	その他	無回答	総計
全体(N=567)	22.0	18.9	9.3	12.2	4.1	2.1	4.9	4.2	1.9	0.2	0.7	1.6	0.9	16.9	100.0	
男性(n=236)	20.3	18.6	8.9	11.0	5.1	2.1	6.8	4.7	1.7	0.0	1.3	2.1	1.3	16.1	100.0	
女性(n=329)	23.1	19.1	9.7	13.1	3.0	2.1	3.6	4.0	2.1	0.3	0.3	1.2	0.6	17.6	100.0	
29歳以下(n=47)	12.8	36.2	6.4	10.6	2.1	2.1	0.0	6.4	6.4	0.0	0.0	6.4	0.0	10.6	100.0	
30歳代(n=52)	5.8	40.4	13.5	9.6	5.8	3.8	1.9	5.8	1.9	0.0	0.0	1.9	0.0	9.6	100.0	
40歳代(n=82)	12.2	31.7	6.1	9.8	3.7	2.4	4.9	7.3	1.2	0.0	0.0	2.4	1.2	17.1	100.0	
50歳代(n=71)	19.7	12.7	21.1	8.5	5.6	0.0	9.9	4.2	1.4	0.0	0.0	1.4	1.4	14.1	100.0	
60歳代(n=117)	24.8	11.1	8.5	14.5	4.3	4.3	7.7	5.1	0.9	0.9	1.7	0.9	0.9	14.5	100.0	
70歳以上(n=176)	32.4	10.2	6.8	13.6	2.8	1.1	3.4	1.7	2.3	0.0	1.1	0.6	1.1	22.7	100.0	
猪位金校区(n=42)	19.0	16.7	9.5	26.2	2.4	0.0	9.5	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	100.0	
戸削田校区(n=103)	19.4	25.2	11.7	7.8	0.0	3.9	4.9	10.7	1.0	0.0	1.9	2.9	0.0	10.7	100.0	
後藤寺校区(n=76)	25.0	13.2	10.5	13.2	2.6	0.0	7.9	2.6	2.6	0.0	0.0	2.6	1.3	18.4	100.0	
田川校区(n=57)	19.3	12.3	5.3	10.5	10.5	3.5	5.3	7.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	24.6	100.0	
中央校区(n=41)	36.6	19.5	4.9	12.2	4.9	2.4	7.3	0.0	2.4	0.0	0.0	2.4	0.0	7.3	100.0	
鎮西校区(n=71)	16.9	25.4	7.0	5.6	4.2	1.4	0.0	2.8	5.6	0.0	1.4	4.2	0.0	25.4	100.0	
伊田校区(n=88)	17.0	20.5	8.0	17.0	5.7	2.3	3.4	1.1	2.3	1.1	1.1	0.0	2.3	18.2	100.0	
金川校区(n=74)	28.4	14.9	13.5	9.5	4.1	2.7	5.4	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	14.9	100.0	
単身世帯(1人暮らし) (n=93)	23.7	12.9	8.6	12.9	2.2	2.2	9.7	3.2	4.3	0.0	1.1	2.2	0.0	17.2	100.0	
夫婦のみ(n=163)	20.2	20.9	9.2	12.3	4.3	1.8	4.3	5.5	0.0	0.6	1.2	1.8	1.8	16.0	100.0	
子育て世帯(18歳以下の 子供と同居)(n=100)	20.0	30.0	6.0	11.0	3.0	1.0	2.0	6.0	2.0	0.0	0.0	0.0	1.0	18.0	100.0	
親子同居(子育て世帯以外 の2世帯同居)(n=156)	24.4	11.5	13.5	12.8	5.8	3.8	6.4	2.6	2.6	0.0	0.6	1.9	0.6	13.5	100.0	
親と子と孫(子育て世帯以 外の3世代同居)(n=19)	10.5	26.3	5.3	21.1	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	26.3	100.0	
その他(n=23)	26.1	26.1	8.7	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	26.1	100.0	
持ち家一戸建て(n=375)	20.3	18.1	10.4	11.7	4.3	2.4	4.3	4.5	1.9	0.3	0.5	1.9	1.1	18.4	100.0	
分譲マンション(n=6)	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	100.0	
賃貸マンション・アパート(n=5)	17.0	22.6	11.3	13.2	1.9	0.0	7.5	3.8	1.9	0.0	1.9	1.9	0.0	17.0	100.0	
民間借家一戸建て(n=16)	37.5	12.5	0.0	6.3	0.0	6.3	6.3	0.0	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	100.0	
公営住宅(n=88)	23.9	18.2	9.1	13.6	5.7	2.3	5.7	4.5	0.0	0.0	1.1	1.1	0.0	14.8	100.0	
社宅・寮・官舎(n=9)	44.4	33.3	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
その他(n=13)	23.1	23.1	0.0	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	15.4	100.0	

全体よりも10%ポイント高い

全体よりも10%ポイント低い

